無産階級評論雑誌

大衆

3

VOL. 2　NO. 2

大正十五年四月二十四日第三種郵便物認可　昭和二年三月十三日印刷　昭和二年三月十五日發行　（毎月一回一日發行）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ツル・ミユウレン原著　荒畑寒村譯

（美麗挿圖數葉）

無産者童話　なぜなの

定價	五拾錢
送料	四錢
百二十頁餘	
四六版上製	

夢の喜び、僞はりの平和、實在しない生活、空しい憧がれ、そうした在來の童話は、ブルジョア少年の樂しむに任せるがいゝ。だが、プロレタリア少年の爲には、プロレタリアの童話がなければならぬ。

現實の生活に對する疑ひ、日々の勞働の苦しみ、仲間の爲に戰ふ熱情、殉道の歡喜、社會改革の燃ゆるやうな憧憬！　プロレタリアの少年には、プロレタリアの生血の浸み出た、現實の、躍動する、生命のこもつた童話を與へよ。

『なぜなの』は實にその童話だ。これはプロレタリア少年の爲の童話だ。本集の美しい、優しい、悲しい、雄々しい童話四篇は、プロレタリア少年の心に、何を疑ひ、何を問ひ、誰を愛し、誰を憎み、何の爲に戰ひ、何の爲に死ぬるべきかを敎ゆる。吾々の今日の苦しい戰ひを、光榮ある勝利に導びくべき勇氣と熱情とを、その魂に植ゑつける。

譯者と出版者とは、年少子弟を有する勞働者諸君に向つて、社會主義文學のもつとも美しい一産物たる、プロレタリア童話集『なぜなの』を、大なる誇りを以て推薦する。

社會主義大意……堺利彦　一〇、
勞働と資本……マルクス　一五、
社會主義と進化論……パンネコック　一〇、
利潤の出處……マルクス　一〇、
社會主義學說大要……堺利彦　二〇、
ゴタ綱領批評……マルクス　一〇、
左翼小兒病……レーニン　二〇、

パリコンミユン……堺利彦　二〇、
ロザの手紙……ルクセンブルグ　一〇、
唯物史觀要約
資本蓄積傾向……マルクス　二〇、
ロシア革命……堺利彦　二〇、
辯證法解說……堺利彦　一〇、
ジエルミナル……ゾラ　七〇、

この他社會問題に關する內外の書籍の取次をします・月刊『赤い星』（價參錢）『名著だより』は無代贈呈但し貳錢切手封入のこと・代金引換は一切御斷りします

東京麴町八ノ二〇　無産社　振替東京二四六二六

第二巻 **大衆** 第二號

◇國内戰線……（七〇）

◇世界革命と農民の地位……ブハーリン（四〇）

◇資本の攻勢と勞働組合の根本的任務・エル・コリ（四九）

時評 勞働運動暴壓法の進化……黑田壽男（二）

頭かくして尻かくさず……高瀨清（六）

◇母への手紙……ピー・シユヌール（五五）

◇無產政黨の分野に於ける勞農黨の地位 大山郁夫（一〇）

◇マルクス經濟學の方法論的特質……大森義太郎（二二）

◇土地所有權矛盾の展開過程……青木恵一（三四）

◇新イソツプ物語三つの魚……（二四）

勞農運動 （對支非干涉運動を起せ……一本松權藏（二五）

流行の輕薄……林唯一（三〇）

◇現段階に於ける資本主義安定の諸問題（調査）薄茂人（五九）

◇列國の對支投資（調査）……荒木五郎（六四）

◇ブツクレビユー……（五四）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞働運動暴壓法の進化

一

今期議會に於てブルジョア諸政黨が醜悪極まる妥協振りを發揮したとき、彼等が表面的に言明した夫々の理由の背後に、その妥協の眞の理由をなすところの他の何事かゞ隱されてゐたことは、政治の玄人ならぬ市井の一無權利者たる吾々にも容易に推測のできたことであつた。たゞその正體が果して何物であるかはブルジョア諸政黨の陣笠連の間に於ても、後繼内閣が誰人によつて組織されるかといふ問題を中心にして各樣に、各自の利益に從つて解釋せられ、從つてその解答たるやマチ／＼であつた。

吾等無産階級の側では、しかし、この三派妥協問題を、彼等とは全然異つた別の立場から解釋した。妥協の報導一たび傳はるや、吾等の胸裡に稻妻の如く閃いた一の豫斷があつた。ブルジョア議會が、その妥協の下に、今期議會を利用して、乃ち、無産議員がブルジョアの獨占場に侵入しない以前に、内輪同志で、對無産階級の重要法案を遮二無二通過さて、益々熾烈さを加へつゝある階級戰のために彼等に有利な武器を作り出さうとする計畫の企てられたこと、これである。吾等は三派妥協について、斯の如き意味を讀んだのである。

果然、無産階級運動にとつて重大關心事の一たる勞働組合法案の議會上程が、三派妥協後間もなく政府によつて發表せられた。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二

政府原案の勞働組合法案については、政府、その御用學者、御用勞働組合並びに御用無產政黨の幹部が、之を稱して社會立法と唱へつゝあるにも拘はず、實際はそれと全然正反對に、勞働組合運動暴壓法である。法案の內容を結論してこれを言ふに外ならぬ。

第一に、此法律の制定は、既存の、勞働運動抑壓諸法令の改廢に觸れてゐるか。全然其の反對。

（治安警察法第十七條の廢止によつて資本家の失ひし所は、强制的爭議調停法の制定によつて補はれた。更に、最近勞働運動、小作人運動に對し騷擾罪の適用件數の增加した事實を見よ！）

第二に、この法律の制定によつて公認されんとする勞働組合は、狹隘なる職業別組合である。（第五十一議會提出の原案）加入組合員の範圍がよし修正されるにしても、尙ほ、此法案は、その是認せんとする勞働組合の性質目的等を御用組合的に强制せんとしてゐる。御用勞働組合の保護、戰鬪的勞働組合の解散！　本法案が、勞働組合に對する過大な國家的官廳的監督干涉の條項を含めるを見よ。

第三に、民事的方面より之を觀るも、資本家のために、その勞働者との直接的、經濟的對抗について の、從來の、資本家の利益のための不公平をそのまゝ享有せしめようとしてゐる。

政府原案の勞働組合法案は、勞働組合が、過去の血みどろの苦鬪によつて獲得した事實上の權利を奪取し、更に、新たなる暴壓の武器をブルジョアのために備へんとするものである。この法案中に含まるゝ些細なる利益の如き、前者の暴壓的內容に比して問題とするに足らぬ。所詮、飽くまで、勞働組合運動暴壓法案である。

三

ブルジョアにとつて、勞働者の運動に對抗し、これを抑壓するに、大體、二種の方法がある。

一は經濟的實力によつて、經濟的弱者たる無產勞働者を自己の意志の下に强服せしめる方法である。

勞働者は、資本家のこの經濟的方法に對しては、資本家との團體協約權の獲得、資本家に對する罷業、怠業等の場合に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

際しての損害賠償責任の否認、雇入解雇等に關する資本家の自由の制限等の民事的諸方法の確立によつて對抗しなければならね。民事法上に於ける斯る權利を勞働者のために認めることは、勞働組合法が、社會立法の名を借するかぎり、最低の條件としてこれをその內容の中に具備しなければならぬものである。然るに政府原案の勞働組合法案は、是等の點に關して冷やかに他人顔をしてゐる。

一、勞働協約に關する規定なし。

二、第五十一議會提出案第十五條。

三、同第十四條

法案には、同條違反に對する罰則なし。

社會立法の名を借して、その最低の條件をすら具備しない「所謂勞働組合法」案の企圖するところは、然らば、別に存するものと觀なければならない。然り、別にある。そしてこれこそ、本法案の全生命であり、全正體である。

一、勞働組合の屆出義務を强制すること。

（第五十一議會提出政府案、第四條、第五條、第六條、第二十三條、等）

勞働組合は、組合の內容を行政官廳に向つて公示しなければならぬ。

二、勞働組合の報告義務を强制すること。

（同上案。第十六條。）

勞働組合は、その業務若くは財產狀態又は組合員數に關して行政官廳より報告を求められたる時は之に從はねばならぬ。

三、勞働組合の決議、規約の取消權、變更權を行政官廳に與へたること。

（同上案。第十七、八條。）

四、勞働組合の解散權を主務大臣は有す。

（同上案。第十九條。）

等。

以上、勞働組合に强制的に課せられる諸義務、勞働組合に對して行使される官廳的監督干涉等を、戰鬪的、階級的、勞働組合の生存、そのストライキに於ける、また政治運動に於ける行動等に對比して、現實の問題として之を考察するとき、吾等は、此法案のカラクリ、その彈壓的性質を、容易に觀取することが出來るのである。

勞働者の運動に對抗する資本家の一方法が、資本家自身の直接な、經濟的な方面に於ける實力的抑壓策にあることを前に述べたが、資本家にとつて、それよりも更に有効な、有利

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

な他の一方法は、政府官僚の徒をして法律的方法の行使によつて勞働者の運動を抑壓せしめることである。

我國に於ける勞働運動は、いかにこの種の手段の行使によつて勞働組合がその地位を脅かされ、その運動の自由を蹂躙されたかを痛切に經驗してゐる。治安警察法、警察犯處罰令、行政執行法、刑法中の騷擾罪、暴行罪、脅迫罪、公務執行妨害罪、暴力行爲處罰法等の日常の、苛酌なき、濫用的な適用。

然乍ら、是等の法律は、勞働組合そのものに適用せられるものではなくて、勞働運動に際しての個々の具體的事件に對して個人的に適用されたものである、假令その行使が實際上は、勞働組合そのもの〻存在を蹂躙するものであるとは言へ。

然るに、今、新たに勞働組合運動に適用されんとする勞働組合法は、個々の勞働者をでなく、勞働組合そのもの〻存在に向つて、公然とその彈壓の刄を振はんとするものである。團體としての組合を、團體として蹂躙し去る權力を發する法律である。ブルジョアのためにする官僚の法律的攻勢が、更に、一段の進展を遂げしものが、即ち、勞働組合法の出現たらんとしてゐるのである。勞働組合法案の正體は、勞働組合運動暴壓の進出を意味する外の何物でもない。

四

此法案の更に詳細なる解剖と、われ等の要求する法案の詳述とは、この小稿の範圍を出づ。

金融寡頭政治下の勞働組合法案が、進歩したる「勞働組合暴壓法」案としてあらはれたことは、われ等に、この時代の正しき理解の上に立つて、階級的政治鬪爭の立場からのみ此法案に關する抗爭を續けねばならぬことを命ずる。

本法案の對策として、「內務省社會局官吏、既成政黨各派少壯代議士等を招待して本法案に關する意見の交換を行ふため茶話會をひらく」(東朝。二月十八日。)ことを、本法案の修正實行運動の方法とし、ブルジョア專制議會に對する無產者の大衆的大運動による意志表示の方法を採らざる社會民衆黨中央委員會の態度の如きは、明かに非無產階級的態度といふべきである。(黑田壽男)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

頭かくして尻かくさず

——軍縮會議の正體——

一

ブルジョア代辯者米田實博士によれば『米國大統領クーリッヂ氏の軍備縮小會議提唱は、昭和二年春における國際政治の空に光明と雲影を投げたもつとも重大事件であらねばならぬ』さうである。そして『第一ヘーグ會議、國際聯盟等に於て、少しづゝではあるけれども進んで來た國際平和策、具體的に見ると大平、大西洋において『枯尾花いう靈』の錯覺から今や互に眞のいう靈と化せんとしつゝある國際的疑ぐ心の一掃てふ問題にも、一時的か否かは兎も角、無影響だといふ事は出來ない』との事である。

國際的疑ぐ心の消長は今問題外として、我々の見る所によると、今日に於て國際的平和の要求こそ所ゆる『枯尾芝いう靈』の感を深くする。そしてこれはいう靈化することなく、今後益々その正體を隱蔽し、神秘化することに務めるであらう。

ブルジョア辯者は、聲をからしてワシントン會議の世界平和に對する效績を數へ立てんごする。ヴェルサイユ條約をもつて資本帝國主義議爭の終ゐんだとムキとなつて叫んで來た。けれごも事實において國際資本主義の調和し得ない矛盾が不作法にもこの麗しき終ゐんの衣を剝ぎ取つてしまつたではないか。

今回のクーリッヂの軍備縮小會議の提唱も疑ひもなく昭和二年春における國際政治の空に投げた光明でなくて、明に飢ゐたる虎狼の血なまぐさい叫聲である。

大平洋會議が極東市場の分割に對する强制の搾取協定であつたとしたならば、今回の提唱も當然それが延長であり、修正である。乃至は、米國の權利伸長の一表現に相違ないのである。そして、その反面には大平洋會議の無意義を表明するものである。もつと具體的に言ふたならば、主力艦のみの制限では國際平和——國際資本の安定——維持不可能を物語つてゐるのである。

二

我々は今日、世界資本主義の目標を何處に見出すか。生產

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

力を破壊され、營養、良に陷つてゐるヨーロッパだらうか。又は、歐洲大戰によつて失つた世界六分の一に當るロシアだらうか。否、々、その重點となり、焦點となつてゐるのは疑ひもなく支那である。支那は一千年の間全世界の需要に當てる石炭がある。少くとも十億噸の鐵をもち、其他種々の金屬と石油を藏し、加ふるに無限に增大し得る農產物をもつてゐる。支那は又世界資本主義國の重要な顧客となることも出來る、從つて世界資本主義の一切の勢力は支那を目がけて殺倒する。世界資本主義の好個の對象となるに矛盾はない。そしてそこには、やがて世界資本主義の對立と矛盾が自然に展開される。

今度支那に於て勃發した排英民族運動は所謂由々しき世界的大問題である。

廣東軍の北方侵略は只單に廣東軍將の吳佩孚、孫傳芳等の軍將に對する戰鬪ではない。北伐軍の勝利は明かに支那革命運動の進展を意味し、支那に於ける革命軍は、支那の勞働者、農民の解放運動の最重要なる要素をなすものである。同時に北伐軍の伸張は、封建的軍閥への一擊を意味するばかりでなく帝國主義列强の傀儡に過ぎないと云ふことの爲めに、それは又帝國主義そのものに對する一擊を意味する。而も廣東革命軍の進步は、それに比例して、支那無產階級の言論、集會、征服及びあらゆる無產階級的、革命的分子の結社、並に同盟罷業の自由の伸張を意味する。

さて、かゝる意義を有する由々しき大問題を前にして、帝國主義諸列强は何を目ろみつゝあるか。香港を根據として揚子江沿岸に巨額の投資をなし、對支貿易の主席を握り、關稅の管理權まで掌握してゐる英國は、この大問題の正面の對象となつてゐる。英國は今日既に漢口、九江の租借地をはく奪され、關稅管理權は消滅されてしまつた。さすがの英國は今日の所、世界資本主義の鬪爭舞臺に於て最も不運の地位に置かれてゐると云はねばならぬ。

善隣の日本は、目下の所對支不干涉を聲明し、廣東軍や支那の解放運動の一般に對してある種の同情をもち、多少の犧牲を敢てしまでも內心南方發展策に腐心してゐる。

米國も亦友情の點に於て日本に後れざらんとしてゐる。

勿論吾々は日本と言ひ、米國と雖も支那の反帝國主義運動が單なる排英運動に止まる限りに於てかゝる態度が持續されることを知らねばならぬ。

然るに、最近の新聞紙の報ずる所によれば排英運動は上海

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に飛火し、更に何等かの程度に於て支那全國に波及せんとする有様である。然らば今日に於ける排英運動は明日に於ては廣汎なる反帝國主義運動であり、明後日には無産階級的世界革命運動となることを豫測することが至難と云ひ得るであらうか。

帝國主義列强は支那に於ける反帝國主義的革命運動の進展に對して共同の利害を感じてゐる。然るに一つの獲物を爭ふ帝國主義列强間にはまた調和し難き利害の對立がある。前者は共同干渉に導き、後者は帝國主義戰爭を爆發せしめる。

三

今回クーリッヂによつて提唱された軍縮案は疑ひもなく反帝國主義的革命運動に對する共同干渉の一前提と見ることが出來る。

米田實博士の紹介によれば、クーリッヂはウイルソンのやうな理想家ではなく、平和思想に共鳴せる純情な「年こつた」靑年でもない、彼は普通な實際政治家即ち常識政治家に過ぎない、然も彼は實際政治家なるが故に、米國の製鐵會社、造船會社その他金力分子に使はるゝ「顧問辯護士」組、若しくば本來反動思想に驅られてゐる狂熱者より成る、上下兩院内の一大軍備論者に共鳴することが出來ぬのである、殊に大統領として國政の局部よりも大局に目を放つと、國費節約の機にあることを思はねばならなかつた、云々」。成る程、彼は、共和黨の政綱よりして、幾度か軍縮案の成立を目論み、一昨年の如きは敢て軍縮案を提案したのであらう。然しながら、彼にして米國大統領の席を有し、共和黨の一員たる以上、米田實博士の如き見方は、明に、虎狼に羊皮をもつて覆はんとするものであり、帝國主義の怪物に天女の衣を着せんとする愚劣極まる企である。

今回彼の提案せるものは、支那に於ける日本の帝國主義に對する、共同作戰の單なる申込の商標に過ぎない。然しながら、この共同作戰の破たんは、彼が最も好く知る所であり、破たんを豫期し破たんの後に於ける征服を意味するものである。

過日、英國と共同作戰の意味に於て、上海中立案を提議して日本の反對に會してもろくも破れた彼は最後の作戰として軍縮案を提議したものである。

彼は又、今回の軍縮案の成立に對しては可成の確信を持つてゐた。即ち彼はこの提案の成立に際して、佛國の經濟的弱

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

點を握り、英國のより大きな經濟的弱點の上に立案したのである。

然るに拘らず、佛國の反對に會ひ、伊太利の不參加によつて、彼はまたして悲感し、當惑したであらうか、否彼の目する所は、米帝國主義の眼目たる支那の覇權を狙つてゐる以上、日英の參加によつてことの成功を期してゐるのである。

軍縮會議の底を流るゝ赤熱の血、眞實に緊張してゐるのは、米帝國主義の世界的飛躍である。英國のもがきに乘じ、月早やの初兒日本帝國主義を脚下にじゆうりんせんとする一手段に過ぎないのである。

この恐るべき魔の手は今後如何にして發展するであらう。國際資本主義の一時的安定を求むるこの勢力は何によつて阻止せられるであらう。言ふまでもなく支那の被壓迫民族の反抗力がロシヤソビエット聯邦の革命的經驗とその精神的物質的援助とにより、國際資本主義へ救ひ難き龜裂を與へることをおいて他にない。

かくて、軍縮會議は如何にその緋の衣の襟をかき合せても、到底その物凄き鎧の胸を蔽ふことは出來ない。軍縮會議の假面は今更の如く世界無産階級の明白に看取せる所である。世界資本主義の對立、矛盾は、哀れにも勇ましく歷史的使命たる死の舞踏を益々佳境に演じつゝある。（高瀨淸）

新刊紹介

デボーリン著 宮川實譯
◇カントに於ける辯證法 定價一、〇〇 弘文堂發行

ミリユテン著 荒畑寒村譯
◇無産者童話 なぜなの 定價、五〇 無産社發行

勞働農民黨編
◇無産階級の爲めの 普選詳解 定價、二〇 同人社發行

ルカッチ著 水谷長三郎譯
◇階級意識とは何ぞや 定價、四〇 同人社發行

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無產政黨の分野に於ける勞農黨の地位

――特にそれと日勞黨の立場との關係について――

大山郁夫

一　無產諸政黨群立の謎

『何故に今日、無產階級の政治戰線上に、幾多の無產諸政黨が群立するやうになつて來てゐるのか？』

これは最近私が、勞農黨の使命を帶びて地方遊說に出掛ける每に、各種の階級及び職業に屬する地方人士から屢〻受けた質問である。そして、最も多くの場合に於て、かうした質問を私に向けた人々は、『今や無產階級が支配階級からの全線的攻勢に直面し、敢然政治的に抗爭することを決意してゐる際に當つて、それは極力その全勢力の結束を固くすることにこそ努力しなければならないのに、何を苦しんで特に異を樹て黨を作らうとによつて、態々その結束を弛緩せしめ、その戰線を混亂に導くやうな暇つぶしをしてゐる理由があるのか？』といふ意味の疑問を懷いてゐるやうに見えた。しかも彼等の間には、その疑問から更らに一步を進めて『無產階級の政治戰線上に於て、今日の如く多數の無產諸政黨が出現してゐる狀態の下に於ては、我々はそれらのうちの何れの黨に就くべきかに關して、歸趨に迷はざるを得ない』といふやうな態度を見せたものさへ、決して少くはなかつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

だが、彼等が疑問として提出することが出來るところのものは同時にわが勞農黨からも、一應は疑問として提出することが出來るところのものでもある。それは、わが勞農黨こそ、歴史的見地から見て、それの先行者であつた不幸な農勞黨を除いては、名實共に無產政黨としての行程に出發し、且つ現にそれを續けてゐる最初のものといへるからである。否、その點に關しては、それは單に最初のものだといへるだけでなく、唯一のものだとさへもいへると、私たちには考へられるからである。だが、それは兎に角、わが勞農黨は結黨と共に解散された農勞黨の蹤を追うて、その創業以來終始一貫、單一無產政黨主義の大旆の下に、勞農大衆の全勢力を政治的に結成し活現する目的を以て行動を續けて來て、しかも近來に於ては益々積極的に全無產階級意識に即する政治鬪爭に乘り出してゐるものである。ところが、このわが勞農黨以外に同じく無產政黨と稱して別派を立てゝゐる他の諸黨に至つては、それらの主唱者たちが各別に、或ひは勞農黨組織運動から離反して行つたり(日農黨の場合)、或ひは勞農黨そのものから脱退して行つたり(社會民衆黨及び日勞黨の場合)したものばかりである。だとするとわが勞農黨の立場から見れば、『何故に今日無產階級の政治戰線上に幾多の無產諸政黨が群立するやうになつて來てゐるのか?』の疑問の解決は、究極に於て、勞農黨以外の所謂無產政黨の主唱者たちが、或ひは勞農黨組織運動から離反して行つたり、或ひは勞農黨そのものから脱退して行つたりするやうになつた諸事實の原因の究明、といふ一事に歸着するのである。

だが、實をいへば、勞農黨の立場からは、さうした諸事實の原因は、疾つくに究明しつくされてゐるものである。といふよりは寧ろ勞農黨の立場からは、さうした諸事實が起つた各瞬間に於て、それらの各々の原因が、敏速に直感され、的確に把握されて來たものである。從つて、勞農黨から見れば、さういふことは、今更ら問題にするに足りないこともいへないではないのである。けれども、一般社會に於ては、前に述べたやうな質問を私に向けた多くの地方人士と同じく、いまだにその點を問題にしてゐるものも、決して少くはないであらうと思はれる。で、さういふ人たちのために、それに關して一應簡單な説明でもを下しておくことは、必ずしも無用のことではあるまい。まして、彼等が『いづれの無產政黨に就

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

くべきか？」の問題に關して去就に迷つてゐるものとすれば、尙ほ更らのことであらねばならぬ。

さう考へたので私は、私が接した地方人士からその質問を受ける每に、他の無產諸政黨をして勞農黨から離れ去るに至らしめた諸原因に關する我々の見解を以て應答するのを常として來たのである。そこで私は、この小論に於ては、さうした場合に於ける私の慣例として來た應答の要旨を再現して、讀者諸君の批判を乞はうと企圖して居るのである。

二　本文の副次的目的――平貞藏氏への御挨拶

私はしかし、尙ほそれに附け加へて、この小論の副次的目的ともいふべきものを、序ながら玆に書き加へておきたい。それは、かういふ譯である。『社會思想』の二月號に於て平貞藏氏が、本誌一月號に出た拙稿『日勞黨の中間派的性質の解剖』に對する駁論のつもり（多分）で、『大山郁夫氏の日勞黨を評す』といふ一文を公にしてゐられる。けれども、私から見ると、それは一向駁論になつてはゐない。といふのは氏は、口を酸くせんばかりに、私（大山）の見解の間違つてゐることを切言してゐられるけれども、大抵の場合、一向その根據を示してゐられないからである。否、偶々その根據らしいものを示してゐられることがあるとすると、それは私から見れば、單に內容の空疏な言葉の羅列と見られるものばかりだからである。

私は今言つたことを例示せよと要求されることを豫期する。それで私は、言はれない先きに、次に聊かそれをしておくことにする。

先づ第一に、第一節では氏はたゞ私の論旨の要約を掲げてゐるだけだから、それが私に不足でも何でも、私はそれをパッスさせておくことにする。だが、第二節に來ると氏は、私が世間並みに日勞黨を中間派と呼んだことを論難して、『日本勞農黨の意義は、日本に於ける無產政黨運動成敗の跡を顧望してのみ眞實に把握することが出來るのである。』（傍點は原文のまゝ。大山。）と言つて居るが、しかしその肝腎の『日本に於ける無產政黨運動成敗の跡』が何であるかに關しては、氏

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

は毫も言及してゐない。尤も氏が日本に於ける無産政黨運動（無産政黨組織運動ではなく）は今やつとその端緒にさしかゝつたばかりであるから『その成敗の跡』といふやうな、古典から拔け出したやうな文字を使つて見たところで、その本體の何であるかゞ解つたものでないといふので、それに觸れようとしなかつたものとすれば、我々にも氏の氣持が解る　しかし、その代りには、若しさうだとすると、お氣の毒ながら『日本勞農黨の意義』そのものは、現在のところでは『眞實に把握することが出來るのである』のでないものになるのである。もつとも氏は、後に第三節に至つて、單一無産政黨主義を奉ずるものが、何故に勞働農民黨以外に日本勞農黨を作つたか？』の自問に對して、それは『再び無産政黨組織運動の歴史の中に求むべきものである』（傍點は原文のまゝ。大山。）と自答して、その少し先きに『殊に農民組合を殘す以外のあらゆる團體の脱退を見て以來の該政黨（勞農黨のこと。大山。）は、既に單一無産政黨としての組織と機能とを失つてゐるではないか』（傍點は私が施したもの。大山。）といつてゐるから、それが或ひは前の『日本に於ける無産政黨運動成敗の跡』に照應せしめられてゐる積りのものかも知れない。が、若しさうだとすると、その大袈裟な表現の內容が、餘りに貧弱に見えるばかりでなく、それは嚴密にいへば、――否、嚴密に言はなくとも、――實際の事情事實に相違した粗雜な物の言ひ方でもあつて、兎に角讀み手を説得する力を全然缺いてゐるものである。

次にその同じ第三節に於て、氏は御多分にもれず、勞農黨の左翼小兒病に觸れてゐるが、茲でも氏は、それの本質が一體如何なるものであるかを少しも示さないで、たゞ一圖にその排擊に熱中することによつて、我々をして自己の影に吠ゆる犬と思はしめてゐる。尙ほまた氏は大膽にも、勞農黨の內部に行はれてゐる理論鬪爭が『排擠的な、利己的な、無目的な』ものであることを放言してゐるが、しかしなぜさういふことが言へるかの理由に關しては、依然として重寶な口を固く緘してゐる。同樣にその次にも氏は、『かゝる意味の鬪爭は恐怖はせぬが回避する』と、いかにも旨さうなことを言つてゐるが、しかし、なぜその回避が恐怖によつて伴はれてゐないものと言へるかに關しても、氏は矢張り勤勉にも、三十六計の易行道をさッさと歩んで、それの説明をまで回避してゐるのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と、まあ、ざッと言へばかういふ譯だから、私自身としては、氏の駁論(多分)に對して應答を試みようにも、取り附く島がないことを感じないで居られない。否、私は更らに、その應答は、既に氏によつて駁撃された私の論文の中に、豫め萬端要意されてゐたやうにさへも考へてゐる。

と言つて私は、少くとも或る一二の題に關して氏の論文から教へられた點があることまでを否定しようとするやうな、さうした大それたことをしようとするものでない。殊に氏が、日勞黨のことを中間派と呼ぶことの不當に關聯して、『偶々宣言の中に「左右兩翼の爭ひには飽き〳〵した」と云ふ字句があると云ふことは瑣末な問題である』(傍點は私が施したもの。大山。)と言つてゐる點は、まづ第一に、日勞黨の宣言の性質について、我々を啓發するところが少くない。若し氏が言ふ通りに、それほど明瞭な言葉で强調的に言ひ切つてあることさへも、畢竟『瑣末な問題』にすぎないものだとすると、日勞黨の宣言も餘程いふことに窮したものだと言はなければならないではないか？　そして、そのことから來る第二の推論は、さうした瑣末な問題をまで問題として捏ッち上げられた宣言を發しなければならなかつた日勞黨の存立の根據も、底の知れたものだといはなければならない、といふことにはなるでないか？

氏はまた、日勞黨が眞に中間派であるか否かの岐れるところは、『要は日本勞農黨の目指す所――現在に於ける無產大衆の意識の把握、解放運動に於ける現段階の認識、それに基づいた戰術方策――の正しいか否か』に繫つてゐるこの點に於ても氏がそこでしてゐることは、單に『問題の提出』といふこと丈けに止まつてゐる。それに我々から見れば、その問題は、日勞黨と勞農黨とが現在步んでゐる道をありのまゝに比較することによつて、容易に解決のつくものと考へられる。けれども、若し氏が、『日勞黨の發展は將來にある』といふのならば、我々も悠ッくりと落ち着いて、その將來を拜見することにすることにしよう。だが、私は私で、その同じ問題に對する見解を、本文の終るまでに少しばかりは述べさせて貰ふつもりである。

それから氏は尙ほ續いて、『日本勞農黨を先づ中間派と斷定し、然る後に中間派一般の檢討から日本勞農黨の意義を究明

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

せんするとのは、現に本末顚倒である』（傍點は原文のまゝ。大山。）と言つてゐるが、しかし私は、氏の言葉を借りると、『日本勞農黨の立場を虚心坦懐に檢討』した後に、さう言つたつもりであるが、若し氏がそれをまだ不足だとされるならば、私は氏が私に向つて、『日本勞農黨が果して中間派か、假りに中間派なりとすれば如何なる意味に於て中間派なのかを明示せんことを要求してゐられるのに對する私の應答のつもりで、私が本文の後の方で書かうとしてゐることのうちに、同じ點を再說するであらう。

平氏の所論にかまつてゐる間に大分暇をとつたが、しかし私は『大衆』社の同人の要請によつて、已むを得ず澁々それを始めたものである。私自身は、最初から氏の所論に對しては、別に答へる必要を認めてゐなかつたのである。たゞ私はしかし、最後に述べた一二の點に關してだけ一二言を書き留めておきたいと考へないでもないから、そのことを試みることを本論文の副次的目的として算へてゐるのである。たから元來簡單を期してゐる本論文に於て、若し日勞黨と勞農黨とに關する部分が比率を失するまでの分量を占めるやうなことがあらうならば、それは今言つたやうな原因からであることを豫め讀者諸君に諒解して貰ひたいのである。

三　無產政黨分裂の諸原因

問題は前に戻る。

今日無產階級の政治戰線の上に異常なる混亂の生じてゐるのは、何に基因するものであるか？　それは單純に表面上から觀察すれば、支配階級が無產政黨運動に向つて行使する分裂政策の成功を反映するものである。無產政黨運動の開始以來支配階級が、如何に強硬に、彈壓、懷柔、誘惑、陷穽、等々の、考へ得られる限りの手段によつて、それの分裂を畫策し實現して來たかは、この運動に參加したものゝ體驗に徵しても疑ふことの出來ない事實である。

けれども、支配階級のさうした分裂政策を如何なる程度に於てもの成功に導いた要因は、たゞ單に支配階級の力のうち

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

だけに求められるべきものと見ることは出來ない。換言すれば、支配階級の分裂政策がその所期の目的を幾分でも遂げたまでには、無産階級の側の上にもまた、それに相當する素地——弱點——が豫め用意されてあつたものと見なければならないのは、當然のことである。

無産階級側に於けるさうした弱點とは何か？ それに答へることは誰れにでも容易である。即ちそれは言ふまでもなく、無産階級側の或る諸團體によつて屢〻示される通りの、偏狹なる特殊的團體利己心とか、彈壓に對する軟弱なる抵抗態度とか、誘惑に對する銳敏なる感受性とか、安易な特殊地位への底深き憧憬とか、等々の如き、手短にいへば全無産階級的意識の缺乏といふ唯一語によつて的確に表示されることが出來るところの、あらゆる素質もしくは傾向に關聯してゐるものである。そして、かうした弱點が、無産階級諸團體によつて政治的に表現されるとき、それは全無産階級意識に即する政治鬪爭精神に對立するところの所謂組合主義的、折衷主義的、日和見主義的、追隨主義的、(等々)の政治意識の諸相となつて、——時としてはリーダーたちの個人的野心もしくは物質欲などによる或る種の局面の動きとなつてさへも、現はれるものである。

今日の事情を見ると、無産階級の政治戰線上の各部面に於て、全無産階級的政治鬪爭意識が一樣の強度に眼ざめてゐるといふやうなことは、實際上あり得ないことである。そこに、支配階級の分裂政策が有效に用ひられ得る餘地がある。それ故に、我々が日常我々の眼前に行はれてゐるのを實見して居る通りに、支配階級の分裂政策は、無産階級の政治戰線上のさまざまの異つた部面に向つて、さまざまの異つた樣式に働くのである。即ち支配階級は、たとへば無産階級的鬪爭意志が熾烈に燃え立つてゐる方面に向つて猛烈なる彈壓の砲火を向ける傍らに特殊的團體的利己心の放縱に跋扈してゐる方面に向つて柔軟なる懷柔の手をさし延べるやうなことをしてゐるのである。時として支配階級は、無産階級の政治戰線の或る一部を、彈壓も懷柔も共に際立つては加へない中立地帶として殘しておいて、そこへ或る種の個人的動機の刺激によつて動いてゐるリーダーたちの指導下にある諸團體などを誘びき寄せるやうな手段をも講してゐるのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

これらのすべてのことは、わが勞農黨の列中から、日農黨を先頭にして、社會民衆黨や、日勞黨やが落伍して行つた際に於て、我々が我々の眼前にまざまざと見て來たところの、餘りにも顯著であつた現象ではなかつたか！

四 「展開」と「混亂」との相互聯關

無產階級の政治戰線上の混亂は、それがそれ自身の展開の途上に於て一度は通り越されなければならないやうに運命づけられてあるものと見える。無產政黨運動の初期に於ける單一無產政黨主義が始めて叫ばれたときには、それは、大體上無產階級陣營內の紛然雜然たる一切の諸分子の大同團結の意味に於て叫ばれたものであつた。そしてその頃は、その叫びに導かれて、さうした紛然雜然たる多くの異種の諸分子が相集まつて、一の混沌たる團塊をなして動き進んでゐたものであつた。ところが、無產政黨運動が一回々々と進轉を劃する每に、その混沌たる團塊が次第に、それぞれに別々の方向を指す幾筋もの流れに分化して行く傾向を示すやうになつたのである。無產政黨運動のその次の展開期に於ける戰線上の混亂狀態は、實にそこに胚胎されてゐたものである。無論、その混亂狀態の生成のためには、例の支配階級の分裂政策も盛に働いた。だが、さうした狀勢が現はれだしたのは、無產政黨運動が或る程度に急速に展開しかけてからのことであつたことは、まだ誰れもの記憶の上に殘つてゐる、比較的に新しき事實である。

五 單一無產政黨主義の內容的發展

かゝる狀勢の下に於て、單一無產政黨主義の最早支持すべからざるものであることを唱へ始めたものも出て來た。『無產階級陣營內に於ける思想傾向が明白に幾つにも分岐して來た際に當つて、それらのすべてを強ひて一樣の鑄型に嵌め込むことは不可能だ』と言つたやうなことを言ひだしたものが、それであつた。しかし、それに對立して尙ほ頑强に、あくまで單一無產政黨主義を主張し通して來たものもあつた。だが、事情がかうなつて來てからは、單一無產政黨主義は、そ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れを主張する一部の――しかも、その數の漸增する一部の――人々の意識のうちに於て、最早從前とはその內容を異にしたものとなりだして來た。即ちそれは最早、無產階級陣營內の紛然雜然たる諸分子をそのまゝに包容した大同團結を作れといふ意味の要求と解釋されるべきものではなくなつて來だした。否、さういふことゝは全然反對に、それは寧ろ、全無產階級的政治鬪爭意識によつて、無產階級陣營內に於けるすべての非無產階級的諸要素を克服しつくして、その全勢力を目的意識的に統一された指導及び統制の下に結成すべき必要を强調するものとして、解釋されるやうな傾向になつて來た。

かうなつて來ると、單一無產政黨主義は最早、當初漫然と考へられて居たやうな、單純な大衆獲得主義でもなくなり、また、無產階級陣營內での無方針の大勢追隨主義でもなくなつた。否、それは次第に、無產階級がそれの歷史的存在によつてそれ自身の上に課せられた使命の遂行を目標としての意識的積極的進出のために、鐵の如く鍛錬されたる前衛黨の組織への大衆の獲得及び結成の方向に沿うて動き出した。この意味に於ける單一無產政黨主義の立場から、所謂組合主義的、折衷主義的、日和見主義的、追隨主義的（等々）の政治運動に對する論爭が分裂前の勞農黨の內外に於て、如何に猛烈に鬪はされたか！

單一無產政黨主義のこの新展開は、我國の無產政黨運動の上に起つた分化、及びその分化の促進に直接間接に交渉を持つた支配階級の分裂政策、並に支配階級をしてその政策に赴かしめた四圍の社會的狀態の動き――それは最も簡單にそして最も定式化されたる表現でいへば、所謂沒落過程を急速に辿りつゝある資本主義の歷史的發達の最後の段階としての帝國主義の世界的潮流の我國の特殊事情の上に於ける顯現を指揮するもの――に關する考察を中心としてこそ、始めて現實的に把握し得られるものであることは、改めて言ふまでもないことである。

六　日勞黨の單一無產政黨主義

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

昨年末、無産政黨運動の分野の上に於ける分裂が完成された後に於て、最初から單一無産政黨主義を唱へて來た勞農黨は、分裂後に於ても依然としてそれを唱へてゐたまゝで現在に及んでゐるが、しかしその單一無産政黨主義そのものゝ内容は、今言つた通りのものにまで展開して來てゐるのである。

勞農黨以外には、日勞黨が矢張り同じ單一無産政黨主義に固執して居るが、しかしそれに對する兩者の解釋が異つて居ることは、平貞藏氏が私への駁論で言つてゐる通りである。尤も氏が、日勞黨の單一無産政黨主義の解釋について言つてゐることは、無内容の言葉の羅列にすぎないものであるから、それだけでは充分に判らないが、しかし氏は、日勞黨が中間派といへるか否かに關して、『要は日本勞農黨の目指す所――現在に於ける無産大衆の意識の把握、解放運動に於ける現段階の認識、それに基いた戰術方策――の正しいか否かの點である』（傍點は私が施したもの。大山。）と述べてゐる。そこにこの問題に關する重要なる示唆がある。即ちこの引用句中に於て、私が傍點を施しておいた字句を見よ。即ちそれは、日勞黨の代表する單一無産政黨主義が無産階級陣營内に於ての大勢追隨主義、無差別的大衆獲得主義、從つて組合主義、折衷主義、日和見主義等々の諸方向に忙しく眼を走らせてゐるものであることを反映してゐるものでなくて何であらう！

七

勞農黨が主張してゐる單一無産政黨主義が上に述べた通りのものに展開して來てゐる今日に於て、それから離反して行つた他の無産諸政黨、――單一無産政黨主義を積極的に否認（少くとも當面の戰術の方針として）してゐる日農黨や社會民衆黨やはもとより、同じ單一無産政黨主義を異がつた意で、唱へてゐる日勞黨をも含めて――が、最早勞農黨とは異がつた立場の上に立つてゐて、從つて異つた指導原理の下に立つやうになつてゐることは、當然の成行である。

そこでこれらの諸政黨は、何とりも先づ、勞農黨の立場を否認する口實を求めなければならなくなつたのである。それは殊に、彼等が勞農黨を見棄てた態度に理由づけるために彼等に取つては絕對的に必要なことであつた。かくて、勞農黨

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に對する彼等の無拘束の惡罵や逆宣傳が盛に行はれるやうになつたのである。これ故に、それらの諸政黨中の最右端に居て、最も強く反動的傾向を示してゐる日農黨は先づ、その宣言中に於て、勞農黨を『直譯的共產主義色彩を濃厚に帶ぶるもの』と呼んだ。つゞいて社會民衆黨は、『我々は社會進化の過程を無視する急進主義を排擊する』といふやうな字句を、その綱領の中に挿入した。最後に、左翼側の勞農黨と、右翼側の社會民衆黨とを同時に裏切つて出現した日勞黨は、そのことの當然の歸結として『左右兩翼の排擊』を高聲に天下に宣することによつて、それ自身の中間派的性質に關して遺憾なきまでに精確な自己告白をした。

かくして、日勞黨の中間派立場は、『左右兩翼の排擊』の宣言の下に出現したそれ自身の生成の過程によつて條件づけられたものであり、また現に條件づけられてゐるものでもある。そして、この立場はまた、我々が今、我々に有理に揣摩し得られるところの同黨のリーダーたちがそれぞれに持つ我る種の個人的動機を度外視して考へるならば、意識的に右翼化するほどの蠻勇もなく、さればといつて意識的に左翼化する注意をも持ち合はさないものゝ、當然に陷るべく運命づけられた陷穽だ、といふことが出來るのである。

かくの如く、意識的に右翼化することも、意識的に左翼化することも、共に敢てし得なかつた日勞黨は、しかし表面的には左翼顏をしてゐて『階級的立場』などを白々しく高唱してゐることは事實である。だが、その『階級的立場』といふとのものも要するに、前に言つた通りに、『現在に於ける無產大衆の意識の把握』以上に一歩を出てゐないものである。日勞黨が發展の可能性を缺いてゐるといふことも、從つて、それの存立が、幾分でも永續的な社會的基礎の上におかれてゐるものではなくて、唯單に一時的のもの、過渡的のものにすぎないといふことも、その點からいひ得られるのである。

無產階級黨中に於ける勞農黨の地位に聯關する諸問題は、まだ中々以上でつくされたものとは言へない。けれども今遊說の途上にある私は、これ以上落ちついて書きつゞけて行くことが出來ないから、遺憾ながらこの邊でこの稿を打切ることにする。（一九二七・三・二。朝盛岡の宿で。）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

マルクス經濟學の方法論的特質について（續き）

大森義太郎

さきに、わたしは、マルクス經濟學はこれを方法論的に見るとき、三つの特質を有することを擧げた。そして、その第一の特質たる「客觀主義」、その第二の特質たる「歴史主義」については既に前號において明かにした。そこでいまやその第三の特質に及ぶべきである。が、その前に、しばらく停つて、かうしたマルクス經濟學の方法をブルジョア經濟學のそれと對比して見ようと思ふ。

客觀主義の反對は主觀主義であり、個人主義である。いかにブルジョア經濟學は主觀主義、個人主義に立脚しつゝあるか？ それは、時としては、マルクスの勞働價値學説と餘り距つてゐないかに、誤つて、云はれるところのアダム・スミスならびにリカアドの勞働價値學説をとつて見ても明かである。

彼等の、特にアダム・スミスの勞働價値學説は、投じられた勞働の數量ならびに性質に應じてなされるところの、財貨の個人的評價を基礎としてゐる。だからして、それは勞働價値學説ではあるにせよ、主觀主義的であり、個人主義的である。

マルクスの場合には、これと全く異る。その勞働價値學説は個人的な價値評價――それがどんなものであれ――に基くことは決してない。たゞ與へられた社會的生産力と、市場において決定される商品價格との間の聯關を表現するのみである。その價値論は客觀的な、社會的な價格法則である。客觀主義的勞働價値學説である。こゝに讀者はアダム・スミス等

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

この明白な差異を見ねばならない。

では、歴史主義についてはどうか？

歴史主義と反對な、非歴史的な觀點は、またブルジョア經濟學に通有なものである。この意味において、例へば上に擧げたアダム・スミス等も勿論さうである。しかし、こゝでわたしは重農學派を例にとらうと思ふ。といふのは、それは極めて興味深い性質をもつてゐるからである。

重農學派は、資本家的生產方法の形態をもつて社會の生理學的な形態と見た。生產そのものゝ必然性から出てくる形態であり、意志や政策から獨立のものだと考へたのである。こゝに、この學派は社會をば全體として觀察しえた。主觀主義、個人主義を脫して客觀主義を取りえた。けれども、彼等はこの形態をもつて、あらゆる時代に、あらゆる經濟形態に共通な、一般的、自然的なものと見たのである！　こゝに、非歴史的な觀點に原因する、彼等の誤謬が存する。

これに反して、歴史主義に據るマルクスはこの形態が資本主義にのみ、特有な歴史的に劃られたものであることを明かにしえたのである。そこで、この點に重農學派とマルクス經濟學との著しい差異がある。

さて次に、マルクス經濟學の第三の特質を明かにするにあたつても、これをブルジョア經濟學と對比せしめて說くことが讀者に最も解しやすいかと思ふ。

生產から出發す　マルクス經濟學は、その第三の特質として、「生產」を出發點とするものである。ところで、「生產」に對するものは「消費」である。無產者經濟學が「生產」から出發するとき、有產者經濟學には「消費」から出發するものがあるであらうことは、我々の容易に想像しうることである。さうしたブルジョア經濟學の好典型こそは限界効用學說にほかならぬ。

勿論、この、近代の有產者經濟學において最も支配的な勢力をもつところの限界効用學說は――ブルジョア經濟學として――他の有產者的特質、主觀主義、非歴史的觀點をも充分に具へてゐる。が、この學說をして有產者經濟學のうちでも

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

特色あるものとなしてゐるのは、それが「消費」を出發點とするにある。

限界効用學説は消費、欲望の分析をもつてその考察を始める。從つて、また、經濟財は生産物――生産されたもの――としては考へられず、始めから、財の一定の量が與へられてをるものとされる。その一定量の財に對してどういふ評價をするかだけが彼等の問題であり、この財がどこから來るかは、――生産は全く背後に推しやられてしまつてゐる。

マルクスは、これに對して、生産から始める。なぜならば社會の發展の動力をなすものは生産力の増大である。同樣に社會の現象もまた、これから導き出される。このことは、既に、史的唯物論、――社會科學としての經濟學の根基たるところの史的唯物論が確證するところである。それゆえ、もし我々が全體としての社會を、またその意味における社會的な經濟現象を正しく把捉しようとするならば、我々は「生産」から出發せねばならない。「消費」から出發するとき、このことは不可能である。こゝに、マルクス經濟學が限界効用學説に對してもつ特色――優越が存する。

そればかりでない。我々は、生産から出發することの妥當を他の方面からも、主張することができる。生産は、消費に對して、材料を供し、その方法を規定し、新たなる欲望を創造する。かういふやうに、生産の方が決定的である。消費は受動的要素たるにすぎない。

かく見れば、資本の蓄積、集中、規則的な恐慌といつたやうな動的な現象、しかも最も重要な經濟現象が限界効用學説によつては説明されないで、ひとりマルクス經濟學によつてのみ充分な説明を與へられるのは、極めて當然のことであらう。

わたしは、上で、マルクス經濟學の三つの方法論的特質を簡單に説明した。最後に、ことはつて置きたいのは、マルクス經濟學の方法論はこの三つに盡きるものではない。またこの三つが獨立してゐるのでは、なほさらない。おのおのが聯關を保つた一つの全體である。たゞその全體から基本的な面をひき出さうとしたのが、この小論文の目的である。

この一文、もつぱらブハリンの「利子衣食者の經濟學」に據る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新イソップ物語

三つの魚

山奥の古い〳〵苔蒸した池には、永年の間、落ちては沈み、落ちては沈む木の葉の外、靜けさを破ぶる何ものもなかつた。暖かい陽の光に泳ぎ、安らかな眠に眠り、幾年かを此池で育つ若い魚達は、時が來ると廣い河や海に出て、何不足なく、否、ある不足も感じないらしく、その流れの押し行くまゝに、泳いで行くのが常であつた。

と、ある日、此靜寂な池にも平和を破る出來ごとが起つた。今までですら、遠くから春をもたらす燕の訪れにも、北から渡り來る雁の聲にも、心ある魚達の間には、何ものかを考へさせられることがないではなかつた。それを老いた魚達は心よしとしなかつたが、今度の出來事ほど彼等を怖れさせたことはなかつた。

それはある冬の寒い日であつた。山は鳴り、地はゆらぎ、俄に一つの大きな沼が出來あがつた。それにつゞいて第二、第三第四ときりもなく、外形は同じような、そして中味は違つた沼が、それからそれへと出來た。

池の長老達は沼の出來たことを喜ばなかつた。なぜならば、其池の中で若い者達に最も人氣のある赤い魚は、一番危險とみられてゐる。第一の沼に屢訪れるので、實は一日も早く彼を追ひ出したいのであつた。然し、安全なものにもせよ、第二の沼へは白い魚、第三の沼へは黃の魚が關係してゐる以上、赤い魚のみを追ひ出すわけにはゆかなかつた。

ついに赤い魚はじめ他の二つの魚も、公然とそれ〳〵の沼の主にと招かれることゝなつた。

池の長老達は益々喜ばなかつた。一方人格者であり、名望家である赤い魚は、池に住みながら、沼の主になることは、充分自分の本分を盡すことが出來ないことゝ長老達の心をくんで、斷然住みなれた池を去ることに決心した。

若い魚達はそれを聞いて騷がずには居なかつた。沈滯しきつた池の空氣は、赤い魚の居るので漸く明るかつたのに、赤い魚に逃げられでもしたら、絕へられないことであつたから。で若い魚達が赤い魚を留めるのに力を盡すのは當然であつた。然し正義を重ずる赤い魚は、彼の堅い決心を飜へそうともせず、

『私は此度池にお別れして、專心第一の沼に盡すつもりです。無論、池の仕事に盡すことも充分意義あることには違ひありませんが、けれども沼の方をみますと、これから先益々必要な仕事があるので、とても全力を盡してもまだたりない位いなのです。私は心を二つに使ひ度くはありません。それで、實は悲しいことですが、皆樣にお別れする次第であります』と別れのを述べたのであつた。

白い魚と黃の魚は何うしたであらうか。

白い魚は第二の沼の主に納まつたのであるが、長老の引き留めをいゝことにして池の客員として留まることゝなつた。一方黃の魚は、沼の主となることは池に住む以上不利であるから—池に住んで居る方がおいしい物が食べられることは確であるから——第三の沼の顧問役ということにして、涼しい顏で、靜かな池にとゞまつてしまつた。

か、しばらくの間に、赤い魚の沼は旭日東天の勢でぐん〳〵と大きくなつてゐつたが、それに引きかへ白い魚の沼と黃の魚の沼とは、旭日に露の消ゆるやうに、ついにはだん〳〵と水もなくなつてしまいました。

（まさいち）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

對支非干涉運動を起せ

一本松權藏

一

支那に於ける、打倒帝國主義、打倒軍閥、不平等條約廢棄の旗印の下に活動しつゝある國民運動は、北閥軍の向ふ處敵なく、恰も無人の野を行くが如くに、日、英、佛、米等の帝國主義の傀儡たる張作霖、吳佩孚、孫傳芳等の軍閥を長江以南から一掃すると共に、勞働者、農民の組織化、國民軍の充實と政治、經濟、教育に全力を傾注して、漸次にその實力を培ひ、支那統一運動の發展は、帝國主義諸國を震駭せしめ、國民政府勢力の進展に恐怖したる彼等は、國民政府　御機嫌をうかがうと同時に、北方軍閥の軍費捻出案である英政府の、關稅附加稅自主的徵收の提案となつて現はれたが、國民政府の漢口英租界占領は國民政府對世界帝國主義諸國との關係をして極度に尖鋭化せしめ、國民政府の背後には赤い手が動いてゐるなどゝ稱して、國民政府を威嚇し、出來得べくんば之を破壞せんとしてゐる。で今や、支那國民運動は、單なる國民政府對北方軍閥の問題たるばかりでなく、支那無産階級對英國資本主義との鬪爭、否全世界のプロレタリア對ブルジョアの問題となつて來た。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二

支那に於ける帝國主義的諸勢力は、日、英、佛、米が最大なものである。そして、これ等各國の支那に於ける利害關係は、相互に相反するが故に、各國の國民政府に對する態度は各同一ではないが、支那國民の解放運動を怖れ、その代表たる國民政府を破壞せんと欲するの念は相一致して居る。

英國は、從來支那を第二の印度たらしめんと欲してゐた。事實上又、支那から最も多くの權利を掠奪してゐるのは英國である。故に廣東政府を仇敵し、その壞滅を企圖してゐる呉佩孚に北閥軍討滅の爲め數百萬圓を支給したのはこの公然の秘密である。だが、英國ブルジョアジーは、國民政府の討滅が俄になしとげられず、又日、米、佛等との利害の衝突が、對支協同戰線を困難ならしめてゐる今日、國民運動を分裂せしめ、支那ブルジョアジーをこの配下に措き、軍閥を使嗾せんが爲めに、二分五厘關税附加税の提唱をなしたが、他列國からは強く反對され、これをきつかけに漢口は國民政府に占領されてしまつた。こゝに至り、英國は支那内地居留英人の内地引き揚げを命ずると共に、數十隻の軍艦を漢口に集中し、また印度より陸軍を上海に送り、命令一下何時にても國民政府に向つて火ぶたをきらんとしてゐる。

英國に增して支那の國民運動を仇敵してゐるのは日本のブルジョアヂーである。日本の帝國主義の支柱は支那である。若し支那の國民運動が成功するならば、日本の帝國主義は破滅するかも知れないからである。だが、北支那を第二の朝鮮たらしめ、張作霖をして支那を統一せしめんと欲した夢は、國民黨の勢力進張と共に破れ、だからといつて英國を支持せず、南支那に於ける英國の支配的勢力の打破されんことを望んでゐる。で奉天系軍閥の北支那支配による日本の勢力の維持と、同時に南方支那の既得權の保留によりて南北兩政府を懐柔して、もつて甘き汁を飲まんとしてゐる。だが、支那に對して最も鋭感なのは資本家である。國民政府の英租界占領は、彼等に極度の恐怖を與へ、彼等の有する南支那に於ける投資の支那民衆の運動によつて破壞されんことを怖れて來た。で彼等は、十四日對支共同宣言を發表した。

近時支那各地に瀕發する動亂は、最近南軍の勢力擴大と共に、排外的色彩益々濃厚となり、この内容複雑險惡を極む。その勢また熾烈となり、不法無理の行動從來曾て見ざ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

る處にして、今に於て、吾人は確乎たる決心と覺悟を以てこれに對するに非ざれば、わが對支關係は收拾の途なきに至るを憂ふるものなり。

（中略）しかして、時勢の變化に應じ、隣邦に對し互讓の精神を以て臨むは當然なれども、今日の如き支那の不合法、不合理の行動に對しては、萬一列國の協調不可能の場合、わが國は止むなく上述の趣旨を以て單獨自衞の途を執る覺悟の外なきを信ずるものなり。

また、彼等ブルジョアの或るものは斯く述べてゐる。

革命軍の暴動的運動は、決して單純なる國權回復運動ではない。（中略）ロシャの後援による共產派は、豐富な財力をもつて共產派の勢力を今日の如く大きなものにしてしまつた。今度の漢口、九江事件は、表面偶發事件の樣であるが、事實は全く計畫的のもので、英國はうま〱とこのわなにかゝつたのである。目下英國のみを敵として戰つてゐるが、これは各個擊破の戰法 英國を倒し今後、支那に於て政治經濟上もつとも多くの利權を持つてゐる日本にあたつてくるに違ひない、かうなれば日本としては存立上重大問題である。（中略）今日の國民政府は、全くロシャのくわいらいである。ロシャの共產黨は僅三十萬であの廣大な全露を支配した。支那共產派も近く將來に於て全支を支配する可能性がある。このまゝ放置することは、國家の存立上由々しき大問題であるから、斷然たる態度に出なければならぬ。

支那國民軍の活動は、そしてまた、支那無產階級の活動は、段々と日本帝國主義者に不安を感ぜしめ、國民政府を倒せ、國民運動を撲滅せよとの叫びが高まりつゝある。

この間に在つて、米國は封建軍閥を利用せず、支那ブルジョアジーを道具に使ひ、彼等に秋波を送つて歡心を買はんとしてゐる、そして、佛國は日、英の間を時計の振子のやうにぶらついてゐる。

斯くて、世界の帝國主義は、支那を中心とした利害の衝突から、互に猜疑し、排斥しつゝ、支那市場奪掠の帝國主義的戰爭の機は熟しつゝあると同時に、支那プロレタリア運動に干涉し、破壞せんとしつゝある。

三

歐洲戰爭は、世界の被壓迫民族、弱小國民に、民族自決の

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

運動を起さしめた。そしてロシア革命の成功は、また彼等に帝國主義、資本家階級との階級鬪爭によつてのみ、眞に解放されるものであることを敎へた。

現在の支那は、世界に於ける殘された帝國主義 唯一の餌である。支那四億の民衆は只だ單に、自國の封建的軍閥と、資本家階級から搾取されてゐるばかりでなく、世界の資本家階級の食ひものとなつてゐる。で、昨年の支那國民黨は黨大會に於て左の如く宣言してゐる。

世界帝國主義の壓制と掠奪に對し各被壓迫國民族の反抗即ち民族革命は到る處に發生して居るが、無産階級は必然に此の××内に指導的役割をもつものである。吾人は革命成功の爲めには、對外的には當然に世界××の先進國と聯合し、又世界の被壓迫民族と聯合し、又帝國主義國内の××××と提携奮鬪する。そして對内的には、軍閥、官僚、大地主、買辨(外國資本主義の手先となる資本家階級)階級等一切の帝國主義的機關を打破する爲め、民族の××を組織し、公明なる政府を組織し、新興産業に注意すると共に勞働團體の保障と發達に努める。

即ち支那國民軍の北伐は、單に北方軍閥の打破のみの爲めではない。それは實に、支那の被壓迫民衆の打倒帝國主義不平等條約撤廢運動の前衛戰である。即ち「この戰鬪は非常に重大なものである。若し民衆の力量がこの戰鬪を勝利に終らしむるならば、結果は四億のプロレタリアの解放に留らず、世界のプロレタリアの解放を齎らすであらう。蓋し廣大な土地と莫大な人口を有する支那は、既に爛熟せる帝國主義の餘命を尙ほ幾分延長せしめ得る唯一の「源」であると同時に、それを根底より崩壞せしめ得る「源」である」(前號王子言氏論文)のである。支那の××が成功した時には、次に印度、及び××も立つであらう。そして歐米諸國より後進國といはれてゐる東洋諸國は、歐米諸國より一歩先に無産階級の解放を達成するであらう。

四

日本は支那と唇齒輔車の國である。日本の無産階級解放運動が、勞農ロシアに刺激される處が多かつたと共に、また支那の無産階級の解放運動がもたらす影響の甚大なことは非常なものである。先年の上海に於ける紡績ストライキが、日本の無産階級に大なる奮激を與へたのは其の一例である。實に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那と日本とは打てば響くの間柄である。だがしかし、日本無産階級の解放が、支那及び其他東洋の被壓迫民族の帝國主義的壓迫からの解放なくして成就されないと同樣に、支那の無産階級運動は、日本の無産階級の强力な支持なくしては成就されぬ。だから、日本の無産階級は全力を盡くして支那民衆の解放運動を救くべきである。

曾て、日本の無産階級は、對露非干渉運動を起して、日本軍隊のシベリアからの即時撤退を叫び、日本の軍閥と帝國主義と戰つた歷史をもつ。今や支那の無産階級解放運動は、曾てロシヤがうけたと同樣に、世界の全資本國家の帝國主義者から、壓迫と干渉をうけつゝある。世界の資本家階級、帝國主義が萬國の無産階級の敵であると同意義に於て、支那の無産階級を壓迫し、搾取し、その解放運動を防害し、破壞せんとするものは、萬國の無産階級の敵であると同樣に等しくわが日本無産階級の敵である。特に日本の無産階級の解放運動は、支那國民の××運動の成功如何にかゝつてゐる。この際わが日本の無産階級は、支那の領土より軍隊の即時撤退、既權の放棄、不平等條約の廢棄、國民政府の承認を標語とし得て、對支非干渉運動を起し、われ等の歷史的使命の爲めに鬪爭せよ。

對支非干渉運動萬歲！　（一月十五日夜）

南方派の各機關と中心人物

國民革命軍總司令部　北伐軍の總本山で蔣介石氏が總司令參謀長李濟琛、政治部主任鄧演達氏、政務局長陳公博氏との下に二十軍團はじめ參事廳政治部兵站總監部等十數の部が置かれてゐる。蔣介石氏（浙江の産、四十二歳）日本士官學校出身、十數年孫文氏の參謀を勤め軍官學校長より一躍革命軍總司令となり南方派の實權を掌握、北伐軍を起し、成功の結果南方派の獨裁官となりすます。參謀長李濟琛氏は廣東の留守役鄧演達氏（政治部主任）陳公博氏（政務局長）と共に卅歳前後、鄧氏は中央黨部の監察委員、陳氏は中央執行委員、兩人共蔣氏の直系にして異常な辣腕家

中央黨部　國民黨の本部でその中心機關たる各部長は左の通り、組織部長蔣介石　宣傳部長顧孟余　工人部長吳稚暉　農民部長甘乃光　商民部長宋子文　青年部長丁惟汾　婦女部長何香凝　海外部長彭澤民　右の內最も樞要なのは組織、宣傳、工人、農民の四部で今回の排英運動の參謀本部視されてゐる顧氏は國民黨左傾派の驍將、吳氏は有名な無政府共産主義者、甘氏は嶺南大學を出た許りの青年で故廖仲愷氏の秘藏つ子、何氏は廖氏の未亡人

國民政府　常務委員張靜江、譚延愷、宋子文、丁惟汾　外交部長陳友仁　財政部長宋子文　軍事部長譚延愷　交通部長孫科　司法部長徐謙　張氏は國民黨の元老で昔は無政府主義者、譚氏も同黨の長老なれど昨今甘んじて蔣氏の下風に立つてゐる陳友仁氏目下南方派の外交を一身に擔つて居り排英運動の立役者であるが玖馬に生れ英國に留學の後十年前はじめて故國の土を踏み北京ガゼット主筆となつたが大正五年日支密約説を流布し京師警察廳に拘禁後上海を流浪し兩三年前廣東へ舞ひ戻り外交部長胡漢民氏の下にゐたが胡氏失脚と同時に外交部長となり縱橫の腕を振つてゐる、氣狂ひじみた頭の持主で今年四十六歳　宋氏は孫文氏夫人の兄で財政家、孫科、徐謙兩氏は十一月現在の地位についたが共に排英運動の急先鋒。

糾察隊　今回は民衆運動の直接指揮者となつて猛烈に活躍してゐるがこれは罷工裏切り防過のために十三年省港罷工委員會內に設置されたもの、革命精神を十分に吹き込まれた腕ッ節の强い勞働運動者千餘名を以て組織されて居り中央黨部の別動隊として民衆の煽動と直接行動の指揮に當つてゐる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

流行の輕薄さ

林唯一

先頃よりインタナショナルでは、ルカッチ、コルシュ對デボーリン、ブハリン等によつて盛んに辯證法の理論鬪爭が行はれてゐる。そこで、引いては各國の共産主義者の間でもこの問題が討論されて、一種の流行の樣に擴がりつゝある。我國でも近頃福本和夫氏なんかを中心として盛んに戰されてるところのものも、インタナショナルで行はれてゐるこの問題の一反映と見ることが出來まいか。

所で、これと同時に福本氏の論文が雜誌『マルクス主義』に掲載されて以來氏一流の一種形の變つた說述法が今我々の間に流行になつて來てゐる。一言にして謂へば實に難しい言廻し方、難しい、乃至は新らしい文句、譯語の續出、我々勞働者仲間には、一寸と直ぐ頭にピンと來ない。ピンと來ない所か意味のとれない程難しい個所が多い。

我々の間では、と言ふより左翼の前衛隊と目される樣な人々の間では難しい文句、言ひ換へれば、新しい文句を使はねば巾が利かないと云ふ仕末である。こうした文句を理解せず、使はないことが、時代遲れと云はれたり、馬鹿にされたりするとは屢々私の耳にすることである。

近來雜誌『マルクス主義』は益々こうした色彩を濃厚にして、數多くの勞働者諸君を惱ましてゐることは事實である。

難しい、解りにくいことを言ふたり、書いたりすることで、思ひ出すことはブルジョア學者の態度である。ブルジョア學者は自己の學問を無産大衆にまで徹底さすことは要らない。徹底さすこととそれ自身は可成骨の折れることであるし、又一方では徹底さす程、彼等自身の立場を脅かす根元となるから、意識的無意識的に難しい文句、解りに苦い論法を喜ん

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

で通ふのである。

引いてはこの解り苦い、難しいことを使ふことは、彼等の安全地帶を擁護することであり、安全地帶を築き上げる一手段と云へよう。

無産階級はこうしたブルジョア學者によつて苦しめられ、ほん弄されることは致方ないことであるにせよ、今日に於ては階級間の對立が明白となり自然こうしたことも比較的縁遠いことになつた。

所が近頃流行の難しい言葉は、階級層がちがふこと、從つて通はれることとその意味內容か、吾々無産階級と切實に關係があることとだけに吾々の不服があり、不滿がある。と云ふてこれは單に私自身の不服でなく、少くとも私の接する限りの大部分に不滿不平の聲を聞くことによつて如何に難しい理解し難きことに對する不平の普遍性が知れると思ふ。

我々勞働者は、無智を誇らうとするのではないが、アカデミックな、てらひ氣のあることには絶對に反感を持つ。我々はこうした傾向を書生さん上りの運動者の間に數多く見る。この種の書生さん上りの運動者は、言ふ事又は話す理論を徹底さすことを勇敢に逃げてしまふ。質問をされても明確に徹底する様に解説しやうとしない。從つて質問をされることを嫌がる。念の入つた連中になると、質問者の頭が悪いと言ひ出す。尤も當人の頭の悪い場合もあらう、しかし、苟も前衛隊としての仕事にあるときにこうした態度を取ることが悪い程のことは恐らく御存知と思ふ。

今日のやうに、やれ科學的だ！　やれ辯證法的だ！　自然發生的だ！　展開するであらう。阻止することを豫期するであらう。等々僅々十文句位の新熟語をやたらと通ふ。私はこうした文句を通ふことに對する不平を云ふよりも先つ、こうしたことを理解し得ない者の前で平氣で通はれる無作法(?)に對して極力反對する。私は多くの會合の場合、理解出來ない一團がさも淋しげに、さも眠むたげに方隅に座つてゐることをよく見る。

何たる態度だ！　何たる輕薄さだ！

私は今日まで、些さたる事とは言へこうした問題が、日本の無産階級組織運動の乃至は組合運動の裡に問題とされなかつたことを心から疑ふ者の一人である。

マルクスの資本論の難解を說くために、カウツキーの勞作『資本論解說』のあるのを知る。ブハリンによつて特に勞働者

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の爲めに編まれた『唯物史觀』を知つてゐる。

吾々の眞の指導者、世界革命の指導者としてのレーニンの態度は何うであつたか。私は近頃の齒のうく樣な指導者、一部輕薄者に向つて彼の生ひ立ちを調べ見られんことをのぞむで止まない、そして勇敢に反省せられたことを望む。

然し、私はこうしたことに對する批判は、大流行のまつたゞ中に居る人には望めない程御當人は無意識である。又それだけにその弊害は恐ろしいと言へる。

然し、吾々の間に今日のこの流行に對してこれは、單なる輕薄さでない、勿論輕薄愚劣さはあるが、それは或一團の一種の武器として、一つのデッテル（商標）である。輕薄さを批難するより、其の土臺たる一團に反省を求むべきであると論ずる人さへある。もしこの人の言ふ樣であつたならば、私の今迄述べて來たことは單にお人好しの義憤に過ぎないであらう。

又或人の説によるとこれは外國書を飜譯する場合でも、原語の意味をよく捕へることの出來ない人はむやみと生硬い言廻し方をするそれと同樣にこの流行は使ふ人自身の無理解によるか、さもなくば適當の言葉、即ち智識の缺けてゐることによるのだと云ふ、

この點に就いては、吾々も日頃宣傳をやる場合に屢々感ずることではあるが、今日の流行のやうな言廻し方しなくとも、より多く理解を早めることの出來る經驗をもつてゐる。いづれにせよ、吾々はこうした流行に對して默止すべきでなく、この流行に墮すべきではない。

吾々は特にこうした流行が組織運動に如何に大きな禍根を殘しつゝあるかに心を留めねばならぬ、勞農大衆は、今日の社會に於ては無智をしいられてゐるのである。豚の樣に牛の樣に、搾取せらるゝまゝに、搾取者の言ふがまゝになることを强要せられてゐることを忘れてはならない。

如何なる金言も、如何なる名句も理解し得ない者の前に何の效を擧げ、何の結果かもたらされるか。吾々が組織運動に從事して殊の外この感を深くする。

× × ×

前記の流行につれて、理論鬪爭が盛んに行はれる樣になつた。華美な高價な女の洋裝が流行する一方に、地味な活潑な

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

働きよい衣服としての洋服の着用が、多くなつた樣に……。流行の全舞臺の一部には、進化、發展、即ち實際的な要求の現れがあるのである。

昨年來。無產政黨組織問題、中間派左翼結成の問題、婦人運動の問題、折衷主義の問題、アンチ福本イズムの問題等々が、所謂る理論鬪爭の渦を卷き起してゐる。

實際、渦といふものは贊否兩道に分れて、正々着々と片づけて行けない所が欠點で、そこへ以て人間の弱點、排他性、優越性、身びいき性、羨望性、獨斷性、日和見性などが、意識的無意識的に錯そうして來るのだから、ピインドをボカした渦守點の樣で、自他の判別がつかなくなる。今日の理論鬪爭場裡には、こうした傾きがないとは言はれないので、氣の弱はい者には、理論鬪爭それ自體にオヂ氣がついて、逃げ出したくなるのだが、そこが思案の仕どころ、ふみ所、渦などはね返して、眞實の理論鬪爭に參加しなければならないのだ。

さて今日の理論鬪爭は、第三インタナショナルと第四インタナショナルの理論的根據の問題に言及されてゐる樣である。これは日本だけの問題でなく、可成以前から國際共產黨などに鬪はされて來ている。即ち日本での理論鬪爭は、その反影であらう。從つて、コルシュ、ルカッチ等對ブハリン、デボリン等の論爭であらう。

所が、そう割つてしまへば、解りも早いし、便利でもあるのだが、「お互ひの種本は秘くしておいて」論爭にかゝるのだから、無智にして淺學の者は、煙にまかれてしまふ。それに我が國には、それ等の論爭の文献が餘に飜譯されて居ないのだ、獨語露語の堪能者のみの理論鬪爭の樣になる。强よく言へば、極限された理論鬪爭の爲の理論、その理論鬪爭の爲の研究、その理論鬪爭の爲の結合となりはすまいか？

理論鬪爭は理論鬪爭によりて、無產大衆を引きつけ、無產階級運動の指針を誤りなからしめん爲に必要であり、なさねばならぬのである。國際的に問題となつてゐるこの理論を正しく理解し鬪爭する事によりて、我々は我々の最も好き理論を持つであらう。

理論は力である。武器である。

併し乍ら理論鬪爭は、大膽に且つ無邪氣に行はねばならぬ。

而して理論鬪爭は、無產階級の廣範圍に普及させ意識させねばならぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

土地所有權矛盾の展開過程〔二〕

——耕作權の社會的基礎——展開過程

青木惠一

三、資本主義下の土地私有權矛盾の發達過程(つゞき)

B 獨占的過程

資本主義的自由競爭の過程は、其の再生產過程の進むに從ひ、漸次尖銳化して行く——「資本主義的獨占の過程は、集積と集中の過程の論理的及び歷史的繼續である。封建的獨占の形骸の上に手工業者の自由競爭が發生して、それが生產手段に對する資本家階級の獨占を齎したる如く、資本家階級は其の內部における自由競爭は、益々この競爭の制限と全國民的市場を獨占する巨大な事業の形式とによつて代られつゝある」(一一)「集積の形態の變更と並行して、集中の形態の變更が行はれた。個人的企業形態に際しては個々の資本家は競爭において、相互に立つて居た。「國民經濟」と「世界經濟」は「交換」によつて關連し、主として「國民的」な枠內において相互に競爭する割合に、小さな是等の單位の總體に過ぎなかつたのである。集中せる過程は小資本家の併合に於て、大なる個人的企業の發展において表現された。大企業の發展に準じて競爭の外延的性質は益々減少して行つた。即ち、競爭者の數は集中の過程と並行して減少して行つたのである。だが、尨大な程度に於て資本の內包性は增大して行つた」(一三五—一三六)のである。而して「資本の集積と集中は、遂に、ト

ラストの組織へと導ひたのである。競爭は更に重い程度に昂揚した。多數の個人的企業の競爭から、複雜な、そして著しい程度に於て打算的政策を行ふ、若干の大資本的合同の激烈な競爭に轉化したのである。遂に、生産の同一な部門に於ける競爭は停止する」。斯くの如く、强度の連鎖を展開し、激烈なる競爭は開始せられ、「國家主義的トラストに轉化して」（一三七）「世界市場に於ける、國家資本主義的トラストの競爭に移るのである」（一三七）

「……カルテルやトラストの背後には、通例、それ等を「財政する企業」――即ち、主として銀行が立つてゐる。國際化の過程――その最も原始的な形態は、國際的商品交換であり、最も尊い組織段階は國際的トラストである――は銀行資本の極めて顯著な國際化を招來した。（九五）

「實に財政資本は、浸潤性の極めて强い資本の形態であつて、恰も自然の如く恐しい空虛に惱みつゝ……充分に利潤が流れて來さへすれば、一切の空虛を充そうとしてゐる」（九五）低きに流れんとする水の力は、一切の空虛に向つて浸潤せんとする。從つて、又弱き組織に對しては、それに代つて浸潤せんとする――「商業資本の常に增大する部分は、これを適用する産業家に屬してゐない。資本に對する處分權を、彼等が取得するのは、彼等に對して、該資本の所有者たる銀行の媒介によつてのみである。他方に於て銀行も、その資本の常に增大する部分を産業に固定しなければならない。これに因つて銀行は益々商業資本家となる」（一二五――一二六）從つて、舊き産業資本家を驅逐し、之に代るのである。

「生産の諸部門と銀行の間に於けるかやうな獨得な經濟的聯策には、兩者に對する最高の指導の特殊な形態が對應する。即ち、産業家の代表者が銀行を統率し、逆に銀行の代表者が産業を統率する」（一二九）

斯くて、世界經濟は國際化せられ、國民經濟の競爭へ轉化せられ――斯くして、國家資本主義的トラストの組織と共に競爭は殆んど全く國外の競爭に移りつゝある」。斯る國際的競爭の過程は金融資本への轉化を必然的に齎す。斯る轉化過程はブハーリンに從へば――「經濟的抗爭が最大な力の緊張に到達した今日に於て我々は軍備の亂舞を見るのである」。

「財政資本の跋扈は、斯くの如く帝國主義と軍國主義を前提とする」――

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

斯くして工業資本主義――ロンドンが世界の經濟中心たりしは、歐洲大戰の美しい正義の人殺しにより、骸の亂舞により、金融資本主義へと轉換せられ、ロンドンよりニウヨークへと移動し、世界の經濟はニウヨークにおいて支配せられるに至つた。

從つて「國民的經濟」によつて、基礎づけられた國家は、既に明かに組織全體をして……「今や一般的に主位を占める階級のみならず、その集合的に作製された意志をも體現してゐる。……政府は事實上、斯くて企業家組織の代表者によつて、作製された「委員會」に轉化し、國家資本主義的トラストの最高指導者となりつゝある」……「國家勢力は、如何なる時代よりも多く「主位を占める階級の執行委員會」となりつゝある。

斯る轉化をなした、國家は完全に資本主義的トラストの一形態への進展である。從つて「獨占國」として、ホザイて居る如何なる國も、ホザイて居るもの程、完成せられたるトラスト化せられたるものである。從つて、アメリカに、歐洲大戰を契機に金融資本の中心が移動し、固定せることは、アメリカの金融資本によつて世界の經濟は完全に支配せらるゝに至つたことを裏書きするものである。

アメリカは世界の獨占王である。アメリカの金融資本家は全世界を支配してゐる。小獨占國は完全に破產せられ、且又歐洲大戰によつて蓄積促進を鋭化せられたるアメリカの資本は、世界的競爭における役割を迅速に決定するに至つた。斯くして、アメリカは以前にヨーロッパに倚存して居た諸國を同化して一大國家資本主義的トラストをアメリカの名において固定成長せしめてゐる。即ち「獨占の製造に對する、獨占」を完成せしめつゝある。アメリカをして偉大なる役割を演ぜしめつゝある美しき可憐な「踊子」は、ロックフエーラーとモルガンである。前者は――National City of Bank により後者は――National Bank of Commerce である。

斯る獨占化の進展は所有權に對し異常なる內容變化を來さしむるのである。

ブハーリンは云ふ――「我々は流通商品回轉から國際的銀行團の活動に至るまでの世界經濟發展の、最も重要なる傾向

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

を檢討した。その複雜な形態におけるこの過程は經濟生活の國際化の過程であり、經濟的發達の個別的地理的地點の近接の過程であり、資本主義的關係の平準の過程であり」而して、更に續けて彼は云ふ「資本家階級の集積された所有の世界プロレタリアートに對する、對立の過程である」と。

又、マルクスは云ふであらう——「資本の獨占は」、それと共に「又、その下に開花繁榮したところの生產樣式の桎梏となつてくる。生產手段の集中と勞働の社會化とは、その資本家的外被と相容れがたき一點にまで到達する。資本家的外被は、破裂される、資本家的弔鐘がなる。掠奪者は掠奪される」——又、ある所において「資本家的生產は……自分自身の否定を生產する」。

金融資本の獨占化の過程は、今や完全に其の資本家的生產によつて法的形態をとれる土地の——生產手段の所有權を侵害し、獨占的支配權を完成するに至つて居る。——即ち、金融資本は確立せられたる、所有權を非所有者の手に——獨占的金融資本家に完全に掠奪せられて終つた。所有權は今や斯る矛盾が展開しつゝ、全世界の經濟に驀進しつゝある。

四、小作權制度の傾向

現今の小作制度、それ自體を以て、封建的形態なりと考へられておるが、之は非常なる誤謬を侵せると云わざるを得ぬ。現實を支配しておる、經濟自體が資本主義組織を有しておる。それが爲には小作制度も資本主義的形態をとれるは勿論である。だが、農業それ自體「自然的前提」の大なる影響を強度に受けるものであるが爲には、資本主義的形態內部に多量の封建的要素の殘存を否認し得るものではない。從つて、資本主義的形態下に、猶封建的殘存勢力を有する。それをして、克服せねばならぬ。

小作制度それ自體、資本主義的搾取關係の農業部門における制度である。このことは正しく、工業部門における賃銀制度と匹敵するものである。即ち、工業部門においては、工場——生產手段の私有により、勞働者傭入れによつて生產をな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

す。即ち勞働者に賃銀支拂ひて、その勞働力の代償とする。然し、斯る代償は生產に要し勞働力と匹敵し、對等に支拂わるゝものではない。即ち工場――生產手段の私有によつて、何等の生產をなす能ず、而し、生產手段それ自體、再生產過程の產物である。從つて、其の生產手段は勞働力の作用によりてのみ、生產過程を展開し、利益を上ぐるものである。故に、生產手段私有者は、利潤として獲得しておるものは、正しく、勞働力の搾取を意味しておる。從つて、勞働者に對し、勞働力の一部を――上前をハネる、之が所謂、利潤として資本家の嚢中に入るものである。換言すれば、資本家は勞働者を自已所有の工場に搾取する爲に傭入れるのである。之は、所謂「賃銀勞働制度」として勞働者の前に鐵則の如く嚴存するものである。從つて、生產手段の所有は、それ自體において勞働力を搾取する媒介性を有しておるものである。

斯る搾取關係は、小作制度の元則をなすものである。即ち小作制度は、土地の貸借關係の社會制度であると解されておるが、それは卑俗なるブルジョア的解釋である。――即ち、土地の所有權が地主の手中に收められておると云ふことは、正しく工場が資本家の私有となれると同樣である。從つて、土地所有權者は勞働者を傭入れて、其の勞働によつて生產をなすのであるが、斯る元則は近代化された大農地制度、大農經營に應用せらるゝが、一般的元則として、農業が自然的前提を強度に受ける爲に――又封建的形態から資本主義形態への飛躍過程において、主從關係を通じての賃貸關係を繼續せしめ、之に匹敵せしめておる。從つて、既述せる卑俗なる解釋は、斯る封建的形態に基礎あると考ふる時に起るものであるが、封建的搾取關係に、更に斯る新なる資本主義的搾取關係を小作制度においては元則としておるのである。小作制度は、都會の賃銀勞働制度と本質においては何等の相異を有するものではない。「勞働青年は勞働力を搾取され」「小作青年は生產品を搾取される」――（青年運動リーフレット――「無產青年大衆團結せよ！」）――と記されておるが、之は誤りである。小作（青年）農民と雖も決して生產品を搾取されるものではない。生產品は勞働力を搾取らるゝ一つの形態に過ぎぬ。唯斯る解釋はそれ自體において封建的主從關係の連續によりて、土地を借りて生產を行ふと云ふことより起さるゝのであるが、土地――生產手段が私有せられておると云ふことは、その土地が勞働力を搾取すると云ふ元則を意味しておる。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

斯る狀態は、小作制度をして漸次揚棄せしめつゝある。即ち、封建的殘存形態を漸次に露骨に資本主義的形態化せしめんとする傾向を以て居る。又一方において、農民運動は農民無產大衆の要求を實現する爲には封建的殘存勢力の克服を當面の任務とし、斯るものを克服し、資本主義的――單純化せしめて後に、眞實の無產階級的意識の下に政治鬪爭の場面に向ふ。農民組合の綱領に――「農村無產大衆をして封建的、資本主義的隷屬思想より獨立せしめ……新文化建設の完成を期す」――とあり、又主張において「小作料の合理化」乃至は「農業勞働者の最低賃銀及勞働時間制定」――と云ふ項目を擧げて居る。

小作制度は、資本主義的元則を基調として漸次露骨になりつゝある。然も、資本主義的元則もそれ自體において、破產し新なる關係への傾向を生產しつゝある。從つて――

農民大衆は、斯る要求に更に加へて「耕地の社會化」「耕作權の確立を基調とする小作法の制定」「耕地不買同盟」を主張し「……土地を投機と利潤の目的に濫用する弊害を排擊し、實際の耕作者たる農民を土地利用の完全なる權利を確保するが如き土地制度」――を眞實の綱領として、鬪爭を續けておる。從つて、我々は元に還つて、純經濟過程としての土地所有權の金融資本主義下の形態を論究することに、小作制度の傾向を認識するを得る。●

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

世界革命と農民の地位

ブハリン

（一九二五年四月擴大執行委員會に於ける演說）

一

同志諸君

私は、この報告では、最も重要な點にのみ觸れるであらう、それは第一に諸君が既に非常に疲れてゐられるし、第二に、私は諸君に可成詳細な論綱を提出したから、そして第三には、私は今、友人の二三と一緒に、これらの題目に關する專門書――この中で、農民農業問題の全ての點が充分精細に取扱はれることが出來る――を準備しやうとしてゐるからである。最初に、私は全ての黨の注意を問題の重要性そのものに向けることを適當だと考へる。外國の諸黨而も最良の諸黨の多くの同志諸君の信ずるところによれば、農民問題は全く二次的なものだそうだ。自らをレーニン主義者だと宣言し、從つて全然範疇的に、トロツキー主義に對して戰ふことが、今我々に、大流行なのだが、實踐に於ては、現實に於ては、それにも關らず、コミンターンに加入して居ながら、この問題に充分の注意を送らない非常に多くの黨がある。多數の同志及び多數の黨に於ては、次の樣な考へさへも支配してゐる。即ち、農民問題はロシヤの如き後進國に於ては、なるほど可成重要である。殆んど全人口が農民から成立してゐるソヴエット聯盟の如き國では、この問題が非常に大きな役割を演ずることは勿論理解される。だが、進歩した國になると、そこの問題は原則的には異つてゐる。農民問題そのものはロシヤに於ける程重要ではないのである。從て、そこでは、問題の提出は全く他のものであり、だからそれだけ（eo ipso）この問題は全く二次的に取扱はれ得る、と。この推論又はかゝる一系列の思想――多くの同志諸君に見受ける樣な

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

――は絶對的に誤謬である。然り、更に進んでこう云ふ事が出來る、從前の時期に於ては、政治權力の奪取が我々に直面してゐなかつた時代には、むしろ二次的な問題であつたのだ。しかし、政治權力の奪取の課題が實踐的課題として近づいて來た今は、かゝる推論――その傍に私は尙、少々トロツキー主義くさいと括弧して附加したい――は絶對的に誤謬であることは、火を睹るよりも瞭である。正しくトロツキーは、彼の永久革命の理論の中に、次の如き思想を展開してゐる、即ち、ロシアでは、農民が人口の卓越的多數をなしてゐるのだから、プロレタリアはその勝利の後、政治權力を持續的に執行する事は出來ない。かゝる一國の社會的勢力の組成に於ては、ロシアのプロレタリア獨裁は西歐プロレタリアの權力機關の助力によつてのみ保持され得る、と。既にそれ自體、この思惟は誤謬である。しかし乍ら私は、この見解に關してはこれ以上立ち入るまい。

二

先づ、我々は國際プロレタリアの、國際勞働階級の勝利には如何なる意義があるかを自問しやう。その際、我々がプロレタリアの世界的勝利、全世界に於ける權力の奪取の事實をその完全な意義に於て認識したとするなら、更に問題が起る。それは、こうである、地球上の勞働總人口の社會的組成はどんなものであるか？ 問題が、かく、提出されると、直にプロレタリアは相對的にも絶對的にも地球の勞働人口の少數をなしてゐることが分る。この事實は、プロレタリアの解放鬪爭にとつて意義があるか、どうか？ 判りきつてゐる！ それではこの問題を等閑に附していゝか？ 世界××、プロレタリアの世界的勝利が、上の如き事實から生ずる問題を解決するだらうと云ひ得るか？ 斷じてそうでない。正反對である、プロレタリアの世界的勝利と共に、この問題は最も廣汎な基礎の上に登場して來る。この視點の下に於てのみ、この立脚點からのみ、農業及び農民問題は、我々の時代の最も重要な問題として我々の前にあるのである。私の考へをよりよく例證するため、只二三の數字を擧げやう。地球の總人口は約一七億である。人口の半以上、約九億はアジアに住んでゐる。支那年鑑(一九二四年――二五年)三十頁に報ずる所によれば、支那だけて四億參千六百萬を數へる。人口の殆んど四分の一が支那に住んでゐるわけである。この四億參千六百萬の中、約四億は農民である。序に、私は、この統計は非常

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に悪いことを注意しておく。印度には、最近の調査によれば、約參億貳千萬の人間が住み、その中約貳千萬は農民である。ソヴェット共和國聯盟には、約壹億參千參百萬の人口の中壹億壹千壹百萬以上は農民である。尙この上、植民地に於ける人口を顧慮するなら、我々は直に、植民地人口の大多數も亦農民から成立してゐることを知る。彼等は未だ可成り遅れた經濟形態、しば〳〵、原始的形態さへ有してはゐるが、社會的に見るときは、農民なのである。農民問題はかくして、我々の時代の最重要な諸問題の一つとしての、農業問題と關聯して現れる。

我々は皆――以前から認められてゐることだが――プロレタリアの世界革命の過程に於て、植民地問題は非常に大きな役割を演ずることを知つてゐる。我々は、ある一定點からすれば、矛盾、資本即ち發達した首都と後進植民地全てとの間の對立は資本主義の主要對立たることを、よく知つてゐる。我々は、世界經濟に於けるこの矛盾は、譬喩的に見たる世界都市、今日の諸工業中心地と、世界村落、即ちこの諸中心地の植民地的周邊との間の矛盾に外ならないことを知つてゐる。これよりして、我々は植民地問題の重要性を看取し、又我々の政策の主要問題は兎に角植民地問題と結合してゐることを知る。社會民主々義的日和見主義の克服の問題さへも、植民地に於ける超利潤及び支配的資本主義の側に於けるその搾取の可能性の問題と結びついてゐる。政策的問題さへも、例へば英國プロレタリアの左翼派と關係のある現在の組合統一政策も、植民地問題と最も密接に關聯してゐる。植民地問題は農業及び農民問題の特殊形態である。この問題を我々が觀察する所ではどこでも、それは重要な經濟的社會的役割を演じてゐるのである。

例へば、既に、我々は、同志ジノビエフの報告及びこの報告の討論に際して、支那の現在の役割を陳べた。支那問題は、支那農民の外國金融資本に對する起り得べき反抗についての問題である。だから、この問題は二次的な、小さな、傍系的なものではない事は疑を容れない。確に、それは我々の時代の最も重要な問題の一つだと云ふ事が出來る。然し乍ら、問題の一つの考察はこの立脚點からでは全然不可能である。それは本來、生產及び政治權力××の視點から論斷しなければならぬものである。農民人口が總人口の非常に大きな部分をなすならば、それが經濟的關係に於ても可成り大きな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

相對的意義を有してゐる事は明らかである。實に屢々發達した國の工業プロレタリアは、この問題は重要でないと云ふ樣な虛僞な、迷妄的見解を持つてゐる。しかし我々が事實を見るときは、經濟的聯繫から云へば、英國はアジアの中に、佛蘭西はアフリカの中に座を占めてゐる。それらは、植民地に於けるそれらの周邊の中に橫つてゐるのである。

英國の勞働者階級が今、植民地問題に捧げてゐる大なる注意の根柢には、この問題の廣大な意義に關する豫感があるのだ。印度に於ける擾亂を見て、英國の單純な勞働者は自問するに違ひない、俺は、今印度を支持しなかつたら、――××××の獲得後――若しも印度が大英國から放れ去つた場合、何も喰べるものがないだらうと。かゝる問題の提出は既に、發達した、經濟的に制約されたプロレタリアの多くの範域に存在してゐる。これは、プロレタリアの側に於いて政治權力の××の問題が、我々の時代の主要問題の一つとなつてゐる事實と關聯してゐるのである。

三

同志諸君！ しかし、我々が農民問題を現在の社會的な勢力分配の立脚點から觀察するときは、事態はどうであらうか？ 農業者とブルヂョアジーの結合がある。プロレタリアと諸々の勞働者黨がある。更に、農民の種々なる階層がある。我々が、我々の階級的立脚點から、農民を評價するときは、我々が、この曾つての自分は社會的に見て如何なる位地を占めるか、如何なる影響の下にあるか、如何に農民の諸勢力は種々なる階級の間に分たれるか、と問ふときは、我々は世界經濟の產業的中心地に於て、零を以て示したい樣な小さな影響しか有してゐないことが分る。植民地的及び半植民地的な國に於ける我々の影響は顯著なるものとして考へることが出來る。かくて、支那と印度に於ける我々の影響は急激に成長しつゝある事には疑はないのである。しかし、英國、獨逸、アメリカ等の中心的諸國について同じ問を提出する時、我々は、そこでは、農民への我々の影響は零に等しいことを確言しなければならない。そこに大なる危險があるのだ。この危險を理解しないならば、我々は重要な問題に對して盲目的に振舞つてゐるのである。人は政治××の奪取について、レーニン主義について語ることは許されない、然るときは農民問題を等閑視する事が出來る。甲か乙かだ！ 我々は先づ獨逸を一瞥しやう。そこには、農民の種々なる組織がある。それ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

らは、如何なる組織であるか？ それらの社會的組成はどうであるか？ 如何なる階級の影響の下にあるか？ 私は諸君に同志ヴルガの「農民運動の情勢に關する資料」なる小册子を讀まれんことをお勸めする。既にこの一時的な報告が我々に可成り驚愕すべき圖景を與へる。例へば、こゝに獨逸に關する報告をとつて見る。戰後種々な副次的現象を伴つて不況が猛り狂つた敗殘の國、獨逸――我々はそこに何を見る？ 農業者と農民の主要組織は、何百萬の同盟員を數へる帝國領同盟 (der Reichslandbund) である。それは堅密に組織された二百萬人以上の關係者を有してゐる。農民の大多數は獨逸の東部、中部、北部に居り、他は獨逸の殘りの部分に散在してゐる。かゝる關係の中に、獨逸に於ける農村プロレタリアの組織度合を見て戴きたい。農村勞働者の半ば帝國領同盟の中に組織されてゐるのである。それは何を意味する？ 曾つて數度の革命と革命的企圖のあつた獨逸の如き國に於て、農村プロレタリアの半分は、大土地所有權と結托した組織に屬してゐるのだ。諸君がこの事實を評價し、それから更に、同樣にこの組織に屬する中農、大農、小農、貧農の數をとつて見るなら、農民の大多數とプロレタリアの半分は、我々に直接對立してゐる敵の組織内に組織されてゐることが判る。指導の立脚點から見た社會的組成は次の如くである、先頭には大農及大資本的範域、部分的には重工業があり、更に觀念的には專制的反動である。仕組の立脚點から見れば、この強力 敵の組織の脊推をなす退職士官、高級官吏。それから、尙他の諸組織があるが、その二三はこの組織に對立してゐるのでなく、組織的附屬物と見らる可きものである。

農民が觀念的にはあまり反動的でない國、佛蘭西をとつて見やう。そこにも亦、我々にとつて不愉快な圖景がある。そこには、約六七の農民及農業者の組織があり、全てそれらは例外なく大農業者と大資本家の指導下にある。

組織的組成並に組織方法は興味あるものである。それは全ての國に於て可成類似しており、至る所同じ形態をとつてゐる。その脊推をなすものは、何か一つ又は數個の政黨である。その組織形態は、社會的組成から云へば、大農業者から最小の貧農、農村勞働者にまで至る組織たる一種の農村組合である。しかし、この組織全體の内部にはある體統があり、それは非常によく作られた、非常に巧妙な機關によつて常に大資本的範域が優勢を占める樣に固められてゐる。幹部はプ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ロレタリアに對して敵意を持つこと著しい。

組合とか種々の協同團體がこの組織と關聯してゐる。それらは又それらで、銀行と經濟的に結合してゐる。被傭者のセクション即ち農村プロレタリアの分派も銀行や重工業の組織體と同樣な關係にある。

同志諸君、これは種々の分枝と大分業とを有する巨大な仕組であり、疑もなく、我々に對立する活動的な手段だと云ふ事を諸君は知られるであらう。

佛蘭西でも同じである、即ち、組織が大なれば大なるほど、侯爵を先頭とし、幹部將校を役員とし、農學者、教授連をこの組織の顧問——勿論部分的にのみ統制の役目を演ずる——とする指導がますます特質的になる。この總組織は種々の、しばしば形式的には獨立した、例へば銀行の如く、金融資本　體制の中に織り込まれた諸組織から成立してゐる。娘會社が出來て、人は株券によつてそれを統制することが出來る、等々。かくの如くこゝでも亦、大資本及大農業の同盟が、これらの組織を統べ、上から下への把手を手中に握つてゐるが如き狀態である。

佛蘭西では、我々の黨は、可成熱心に農民の間で動いてゐる。しかし彼らに對する我々の影響は實際未だ非常に小さいことを明らかに確言しなければならぬ。

四

同志諸君、我々はこゝに、佛蘭西と獨逸の只二つの例を擧けたのみだ、しかし同樣な、狀態は殆んど至る所にある。

最近農民の諸組織內にある分化が目立つて來たのは幸ひである。それは、かなり顯著な廣汎な過程でさへある。しかし我々が情勢を全體的觀察し、植民地を考慮せずに、從つて多少とも進步した國々に於て、淸算して見るならば、我々の仕事は只端初にあることを知る。我々の前には强敵も控へてゐる。革命の波頭が急激に高まる時代には、プロレタリアの大なる階層を引きちぎり、民衆のより大なる階級を味方にすることが出來る。しかし、全然經過的な、一時的な安定の時代には、これらの階層が利用されてプロレタリアに對抗する危險が起るのである。

同志諸君！　ファシズムに對し、部分的には又社會民主黨に對し、白の恐怖に對し、黑色インターナショナルに對して、最大の豫備軍となる者は誰か？　反革命はどの方向にプロレタリアに對抗する豫備軍を求めるか？　村落の方へであ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る。同志諸君、獨逸に於てプロレタリアの半分が黒色隊に、ファシストに屬することは、全く醜聞ではないか？　農村プロレタリアのその様な比率が敵の陣營に屬してゐやうとは、今まで私は知らなかつた。そして、この總數は階級對立を分析しやうとする者を落膽させてしまふ。それは明白な例解である。清算した所、我々にとつては頗る不利である、かゝる状態ではプロレタリアが政治權力を××することは非常に困難である。

同志諸君、正にこの根據からして、この問題は、コムミユニスト、インターナショナルにとつて、遠大な意義がある。私はこゝでは全く大摑みにかく云ふことが出來る、革命的プロレタリアの立脚點から、並にレーニン主義の立脚點からして、この問題を二次的なものだと見ることは最大の痴愚である。

全ブルジョアジー、農業者の範域、及重工業者は事態を勿論非常によく理解してゐる。既に以前に、ブルジョア・イデオロギーの札附の代表者たる教授連は、これに關して、粉飾する所なく、意見を述べてゐる。例へば農業及農民問題の專門家の獨逸の一教授コンラッドは農民問題について書き、彼の政治的豫望を次の如く表明してゐる。「政治的な點に於ては、彼（農民）は定住性と土塊への執着性によつて、郡村の繁榮の基礎をなす、又大地主と大きな地方の單純勞働者との間の中間關節として重要である。農民なるものは、いつの時代も、頑固に古きものに戀着し、それを力を盡して擁護する所の國家の保守的要素であつた。所有權の尊重、愛郷心等は農民を都市の革命觀念に對する自發的反對者と成し、社會民主々義的努力に對する確固たる障害となす。故に、農民を全ての健全な國家の確固たる支柱と見るのは不正當ではない。」（國家學辭典、第三版、第一卷、六三五頁）

又は、農業政策に關する本を出したスクラヴアイト教授から他の引用をしやう。その中で彼はこう書いてゐる、「農民が本質的部分を成す國家の社會的構成は特殊な力を享受してゐる。階級憎惡にまで昂まる不平は農村では生ひ立つ土地を有しない。文化史家リールは、農民と土地貴族を、彼が社會運動の勢力と極印をつけた都市の市民と無産者とは反對に、社會的保守の勢力だと名付けた。農村の人間は統御し易い。彼は一國の内政に堅實と停滯を與へる。都市國家は、あまりも容易に、急進主義、庶民政治又は專制政治におち入る。」（經

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

濟及社會科學文獻第十七卷農業政策第十七頁）

勿論この專制政治特にプロレタリア獨裁はブルジョアジーにとつて非常に危險なものである。だからこそ、全ブルジョア階級はこの問題に注意を向ける。確にこのブルジョア農學者の豫望は制限された豫望であると云ふ事が出來る。ブルジョアジー及農學者達がその樣に衒嚇的に云ふ時でも、彼等は農民　保守主義は農民の永遠の特相ではない事、又既に農民戰爭とか社會的な農民叛亂の時代の如きこの保守主義と殆んど關する所なき他の時代があつた事を知つてゐるのだ。我々は今、有產者秩序が深刻に穿ち開かれ、その爲め、農民の特性慣習——農村に於ける絕えざる勞役を通じて、所謂農民生活の無智と關聯してゐる——も部分的に消滅しつゝある樣な時代に生活してゐるのである。

同志諸君、過去つた資本主義の急速な發展期は、特に二三の急調に發展する國々に於て、全く特殊な現象と結びついてゐた。この現象の一は、プロレタリアの二三の階層のブルジョア化であつた。そこで、例へばエンゲルスによつて、曾つて、英國のプロレタリヤはブルジョア化した又はブルジョア的プロレタリアと名付けられた。英國のブルジョアは世界市場に於て獨占地位を占めてゐた。彼等は大なる超利潤を引き出し、それによつて英國勞働階級を腐敗せしめた。社會愛國主義はこの現象即ち超利潤を得る大盜掠國の存在と密接に關聯してゐる。プロレタリアの全階層さへブルジョアの陣營に移り行くとするなら、勿論農民の種々なる階層例へば私財を持つてゐたり、個人的に經營したりする樣な階層は尙更ブルジョア化すると云ふことは、尙容易に考へ得べき事である。プロレタリアの內部に罅隙さへ生じたとするなら、農民の分化過程は、勿論より急激に起つたに違ひない。農民の二三の部分が、その經營に資本主義的基礎を與へることに成功した時代は、同時に大資本と大農業によつて全農民に影響を及ぼした事も確言されなければならぬ。しかしこの向上的資本主義は特殊な時代であつて、その時代の特殊な性質を、他の時代、特に我々の今生活してゐる時代に機械的にもつて來る事は出來ない。人口は、プロレタリア內部のこのブルジョア化した要素の消滅と同じ樣に、農民生活の內部にも亦かくの如き過程が生ずると云ふ命題をさへ立てる事が出來る。この過程は先づ私有財產と最も少く結びついてゐる、そして部分的には賃勞働者として生活す、農民のかの層に於て、かくして

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

農民の半プロレタリア的階層、貧農等に於て始まる。この過程はプロレタリア内部のものよりも、非常に緩漫だと云ふ事は自明である。從つて人民のこれらの階層を我々の影響下にもたらす我々の任務はブルジョア化した社會民主義々におかされてゐるプロレタリア部分の獲得よりも遙に困難である。しかしこの任務の困難なことは我々をその任務から免ぬかれさせはしない。この問題が困難なればなるほど、我々はその解決に益々力を盡して働かねばならぬ。我々は農民、貧農、小農の多くの部分を我々の影響下にもたらさねばならぬ。然らずんば、勝利は覺束ないであらう。人もし鋭く強く表明しやうと欲するならば、資本主義發展の内部に於ける現時期は、社會的立脚點から見るときは、ブルジョアジーとプロレタリアの農民爭奪戰に外ならないと云ふ事が出來やう。私は總括的にかく云ふ事が出來る、我々は三つの社會的勢力中心即ちプロレタリア、支配階級及農民を有してゐるのである。この事實に基き、今やプロレタリア、ブルヂョアジー間の農民爭奪戰が起つてゐるのだ。

　私はこの場合一般的に云つてゐるので、農民内部の種々な階層を分別してゐない。大體に於て言ひ且つ一つの全景を與へやうとするならば、今の時代は農民の魂を獲得せんとする戰の時期である。そして私は、ブルジョアジーはこの特徴を共產黨よりも、よく理解してゐると云はなければならない。それは確說し强調されねばならぬ。そしてその中にこそ、危險がある。我々は共同戰線の戰略について語つており、勞農政治の合言葉について語つた、又農民獲得の不可缺なることについて決議した。等々、しかし我々は實際には、この領域に於て非常に僅かな事しか爲してはゐない。然るにブルジョアジーは現實的共同戰線の戰略を農民に適用し、この領域で非常に多くの事をやつて、非常に多くの効果を得、プロレタリアに對抗する豫備軍を形成したのである。これは絕體に見易く且明白なことである。(つゞく)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

資本の攻勢と勞働組合の根本的任務

エルコリ

資本主義社會の沒落過程は一面的な過程として見られ得る程簡單なものではないと云ふ事は已に全く明かな事である。我々は資本主義社會の組織が益々崩れて行つて、最早だん〲大衆の最も手近な要求を消すことが出來なくなりつゝあるのを見ると同時に、資本主義經濟再組織の試――しかもかなり廣汎な試み――が行はれてゐるのを見る。換言すれば、資本主義の寄生的形態が益々ひろがり、全組織がその根抵からゆり動かされてゐるのに、資本主義そのものゝ内部に、この沒落に抵抗し、新らしい進展に向つて努力する力が芽をふいてゐる。この互ひに矛盾した要素の錯綜と、これ等要素の相異つた力の大さの內に、現在の客觀的狀勢の特徵が存するのである。かくて我々は今や資本主義の相對的安定と呼ばるゝ狀勢に面してゐるのである。資本家の努力は資本主義復興の要素を沒落の要素に打ち勝たしめる事に向けられてゐる。

實際資本の力を集める試みはこと〲く、資本の利潤の維持と增加と云ふ主目的を追ふてゐるのである。しかしこの目的を實現せんとするや否や、資本主義社會組織の全矛盾が迸發し初めるのである。

これが例證となるものは無數あり、且我々の眼前にある。全國的に、或ひは國際的に行はれてゐるトラスト化の行程もこの一つである。廣汎なる大衆の生活欲求を維持する任務は最早資本利潤維持の任務とは結びつけられない。

この矛盾の袋路から脫出する唯一の道は資本家には勞働者階級に對する攻擊が殘されてゐるばかりである。勞働者階級から、新手段によつて利潤が搾り出されねばならぬ。勞働者階級を、强力な組織的な攻勢によつて、ぐんと押し付け、資本主義生產方法の均衡を得せしめねばならぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞働者階級を犧牲として行はれる合理化は再び安全な經濟支配の君主たらんと努力する資本家達をして、『プロレタリアとの鬪爭の爲に資本の全力を集中せよ』と云ふスローガンを掲げしめる。

この合言葉の下に資本の攻勢は色々な形ちで行はれる。我々は今純粹に政治的な要求を除いて三つの主要形態をあげることが出來る。

一、勞賃切下の爲の鬪爭

二、勞働時間延長の爲の鬪爭

三、經營內における勞働者搾取の强度化の爲の鬪爭

資本家階級が公然且つ恥知らずに、經濟的恐慌を切拔けんとする任務、即ち資本主義的社會組織の安定を圖る爲の任務を行ふ場合にはいづこに於ても、この三つの主要形態に行き當る。これの最も明かな例は英國の炭坑爭議である。英國の炭業は危機に陥つた。炭業をその基礎とする英國の全經濟は、今や危機の狀態にある。英國の炭業は最早現在の資本主義生產組織の下では平均利潤をあげ得ない。どうすれば良いのか。炭坑主も英國の全支配階級も共に、この脫道として勞賃引下、勞働時間の延長、激しい搾取以外にない事を見た。フランスに於ても專門家案は勞働力搾取の增加の問題に付いて一致し、工業家はこれを勞働者に强ひて安定を得やうと求めてゐる。イタリーに於ては法律は勞働時間を九時間と定めてゐるが、實際には安賃銀で十一時間、十二時間と働かされてゐる。ドイツでは「合理化」が行はれてゐるが、これは勞働者を貧窮化し、益々經濟的桎梏につなぐ事を意味する。

勞働者階級に對する資本の攻撃のこの三つの主要形態と並んで、これを補足するものに、資本主義諸國で益々永續的現象となつてゐる大衆的失業がある。この現象は一方恐慌の徵候と見られてゐるが、他方それは資本主義合理化の試みの結果であり、且つプロレタリアートに對する攻撃案の分離すべからざる要素をなすものである。失業豫備軍を造ることは實際上、賃銀を低くしておく事を可能ならしめる條件であるばかりでなく、勞働者階級の抵抗力を弱め、その陣營を攪亂す

ることである。

これが勞働者階級に對する資本の經濟的攻勢の特徴である。若しもしからば如何にして勞働者階級はこれに對抗せねばならぬかと問はれるならば、組織的抵抗力の問題に於ては一般的に不和な事情の下にあると云ふことを告白せねばならぬ。資本の攻勢が全幅の力をあげてゐるのに、殆んど到る處に於て、勞働組合の陣營は亂れ、力は減じてゐるのを見る。この混亂は、プロレタリアに對する攻勢が、同時に經濟的並びに政治的領域（武力による壓迫）に於てなされる國々に於て最も甚だしく、勞働者階級が傳統的に強く組織されてゐる國に於ては比較的少ない。しかしかゝる國々に於ても勞働組合の組織の力の分裂、減退の徴候が現れてゐる。そして特に到る處に於て、例外なく、勞働者の傳統的な防禦組織――勞働組合――が勞働者の力を集めて反抗せしめ、攻勢に移らしめる事が出來ない事を示す徴候が明かに現れてゐる。しかしこの否定的な徴候と共に、他方、敵の壓力が增せば增す程、大衆の内にこの階級の戰線の統一を恢復せんとする傾向がある。

我々はこゝに於ても、又積極的な要素と消極的な要素が同時に現れてゐる二重の過程に當面する。勞働者階級の前衛は、活動的な方法に於て、積極的要素を著るしく有力ならしめ、廣汎なる大衆を益々鬪爭に引き込み、鬪爭の場合における組織の力を間斷なく增大せしめ、勞働者の鬪爭力を增加せしめねばならぬ。

この鬪爭における勞働者階級、その防禦と攻擊組織の根本的なスローガンは、資本家階級のスローガンと似たものであらねばならぬ。即ち資本家階級のスローガンが資本家の利益を追究すると同樣に、勞働者階級のそれは自己の利益に向けられ、そして資本の攻勢力統一を考へて、勞働の諸力を結合せよと叫ばれねばならぬ。

このスローガンの政策的表現は共同戰線の戰術である。この戰術は現在プロレタリアの前衛の前進の基礎であり、最も有力な武器である。何となれば彼等はこの助けによつて資本主義社會の危機を深め、勞働者の大衆を階級鬪爭の戰線に動員させるを得るから。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

共同戰線の戰術の意義は、それが曝露戰術であるばかりでなく、勞働者階級をして資本の團結に抗爭せしめ、かくて資本主義安定の試みを打破すると云ふ意味で積極的意義を有する。この戰術を棄てんとする試みは決定的に否定されねばならぬ。否そればかりか無產階級の利益に反するものとされねばならぬ。

プロレタリアの力を結集さす爲の鬪爭は、勞働組合の活動の內に於ては、未だ刻下の狀勢に應ずるところの徵を示してゐない。先づ第一に勞働組合の分裂に對抗する任務がたてられねばならぬ。第二の任務は失業の爲に勞働者階級の鬪爭力を弱らしめない樣にする事にある。我々は勞働組合に屬する勞働者と組合外にある勞働者大衆との間に永續的な結合を行はねばならぬ。同時に亦工場內で搾取されてゐる大衆と失業者との組織的な結合が作られねばならぬ。この場合には宣傳問題新組合員の獲得が問題となるばかりではない。大衆の勞働組合加入の宣傳、組合から脫退に對する鬪爭、失業者と勞働組合との結合の維持は我々の活動の中心點であらねばならぬ。しかしこれだけでは充分ではない。資本の攻勢は、單に宣傳と云ふ仕事で効果をあけ得るよりも速かにその力を延ばす。我々の目的はそれ故に勞働組合の外部にある大衆、或ひは失業者の間に色々な組織を作らねばならぬ。この任務は諸國に於て切實なものとなつてゐる。勞働組合と並んで存在し、又之と密接な關係を持つてゐる組織としてフランスにはプロレタリア統一委員會、イタリーには宣傳委員會、イギリスには行動委員會等がある。これ等の結果は必ずしも充分なものでなく、しば〳〵過誤が犯された。しかし乍らこの傾向を批難し、否定すべき必要は毫もない。失業者大衆の間になさねばならぬ活動に關しては、殊の外その活動の結果は目的より遠ざかつてゐる。共產黨は、殊にドイツ、チェックスロバキア、イギリス等に於ては、もつとづゝと決定的に失業者大衆を組織し、失業者と勞働組合に組織された大衆との間の結合を圖らねばならぬ。この任務は決して簡單なものではない。これには重大な障害があり、或場合には危險さへともなふ。しかし無爲に手を拱ねるより、間違つても行ふ方がよい。失業者を强固に組織された鬪爭的な大衆に變ずる事は、大なる政治的意義を持つものである。この目的を達する爲には忍耐と持續が必要なばかりでなく、勢力と勇氣と決意とが必要である。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

工場委員會の問題も同樣な見地から解かねばならぬ。工場委員會——工場にある全大衆の組織——はプロレタリアの前衛の助けをかりて、資本の攻勢に對する闘爭に於て、プロレタリアの全力を組織的に統一する武器とならねばならぬ。現在に於てはこの組織形態は、非常に重要な意義を持つてゐる。けだし、工場或ひは經營内における階級闘爭は、工業の合理化に就いての企業者の計畫と關聯する新形態を採る傾向を示すから。合理化は勞働者の目にはより激しい搾取——組織的な、科學的な無制限の搾取と映ずるのみである。かゝる搾取に對して勞働者を動員することは勿論工場をその中心點とせねばならぬ。何となればこゝに於て搾取の新形態が一番よく現れてゐるから。工場委員會はこの闘爭の武器となり、指導者とならねばならぬ。合理化に對する闘爭は工場委員會から出發し、全階級組織に擴がらねばならぬ。

プロレタリアの前衛の當面し且つ解かねばならぬ他の問題は、勞働組合の組織そのものに關聯する。勞働階級統一の爲の闘爭はこの方面に於ては次の形で表れて來る。

一、勞働組合運動一般の集中化の爲の闘爭、殊に産業別聯合組織の爲の闘爭。

二、資本の組織に對して有効に對抗せしめ得るあらゆる一時的組織の利用の努力。

我々はこの方面に於ても改良主義的勞働組合幹部の巧妙なる反抗にぶつかる。何となれば勞働組合運動の集中化は、階級闘爭の激成、集中を意味するから。彼等は何よりもそれを恐れるのだ。これと並んでかゝる集中化は、勞働組合組織の「合理化」をともなふ。即ち組合官僚の一部はその地位を失はねばならない。これが我々の闘爭が二つの戰線に於て行はれねばならぬ理由である——資本の攻勢の壓迫と、勞働組合を階級闘爭へ引きこめと云ふスローガンと勞働組合の眞の革命的指導の確立の下にすでに運動を初めた勞働大衆と密接な關係をもちつゝ。しかし我々が改良主義的指導者に對する闘爭と、現在における階級闘爭の必要を反映するスローガンとを結びつけた場合に於てのみ、我々は改良主義者に對する闘爭に具體的形態を與へ、そして大衆を引き離すことが出來るのである。

勞働組合によるプロレタリアの統一の爲の戰ひは、我々の仕事の中心的なものゝ一であるが、これは勞働組合内における我々の實際上の小仕事の支配的要素にならねばならぬ。統一の爲の闘爭によつて共產主義者はマルクスがすでに共產黨宣言の内に述べた任務——『いかなる時にも全プロレタリアの一般的利益を、その解放の爲の闘爭裡に於て代表せねばならぬ』——を解決せねばならぬ。（コンムニスト、インタナショナル一一號所載）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ブックレビュウ

ミユレン原著　なぜなの

荒畑寒村譯

プロレタリヤ文學が盛んになるにつれて、無産者童話といふものも、當然出て來なければならないのだが、今迄どうも餘り面白い好いものがなかつた。無産者新聞にも大部掲載されてゐたが、とかく理落ちがして、その上言葉が洗練されてゐない樣だつた。

この童話は獨人ヘル・ミユウレンの著で、この小集以外にも、多くの作がある樣にきいてゐる。流石に筋の發展、言葉のたゝみかたに旨味がある。第一のバラの花が一番子供に面白く感じられるのではないかと思へる。第二の一羽の雀も、なか〳〵理屈入りで面白い。第三の灰色の小犬も、第四のなぜなのも、その着眼が非凡の樣に思へた。この童話を讀んで、何かを考へつかない樣な子供はあるまい。それ程、在來の童話と域を異にしてゐるのである。

が、譯文は少しギコチない樣で、いゝ心持で讀んで居る中に、時々石につまづく樣な不快な箇處にぶつかる。それから又餘りに俗に使はれる言葉が、ヒヨイ〳〵とあつて、飜譯劇の舞臺面から、急に世話ものゝ場面に引きまはされた樣で、少々面喰はざるを得ない樣な句調が出て來る所がある。

雀の鳴き聲など『ツイー〳〵』の方が通かも知れないが、日本の子供には、否日本の我々にとつては、矢張り『チユウ〳〵』の方がなつかしい。親雀が小雀に向つて『お前の云ふ事は、まるでボルセヸキの云ひ草だよ。』なども、何となくきつすぎて、眞意が分らない。ボウル少年の『なぜなの』の質問も、何だか五六歲の子供に脊廣をきせて、髮を分けてやつた樣で、こましやくれた感じ、卽ち中流以上の紳士のヒナ型の感じをうける。無產者の子供は大體『なぜ？』とか『どうして』などの所で、アツサリ、きいてしまふから。

この童話を讀んだ私の從弟は、『こりや僕達のぢやないなあ。大人の讀む童話だよ』と云つた贅眼に、私は感心してゐる。童話といふフレ出しに、たかをくゝらず大人諸兄姉の御一讀をおすゝめする。

我々の子供にとつて、金五十錢は捨てがたいが、四六判百廿頁で二色刷のオフセツト版三枚の他に挿畫が多くさん入れて小綺麗に出來てゐるのは、大安値と云はねばなるまい。

(無產社發行、價五十錢)　(土田槇)

無產者政治必携

(產業勞働調査所編)

本書は我國資本主義の特殊的發展形態による現段階の諸事實を、小書物の紙幅の許す限に於て、總括的に、簡明に叙述し、其の主力を、一方、無產階級陣營內の階級的裏切者への嚴正なる批判に向け、他方、帝國主義的發展段階を過程しつゝある我國の支配階級――彼等の代理人、政府、既成諸政黨――が、總ゆる國家機關を通じて、强大なる彈壓、巧妙なる欺瞞に努めつゝあるを曝露して、全無產大衆の政治戰線への緊密なる結合の必要を指示して居る。

いまや、我等は支配階級と全線的徹底的鬪爭を開始すると共に、自己階級內の墮落分子と不斷に抗爭を續けなければならない必然と必要に迫られて居る。

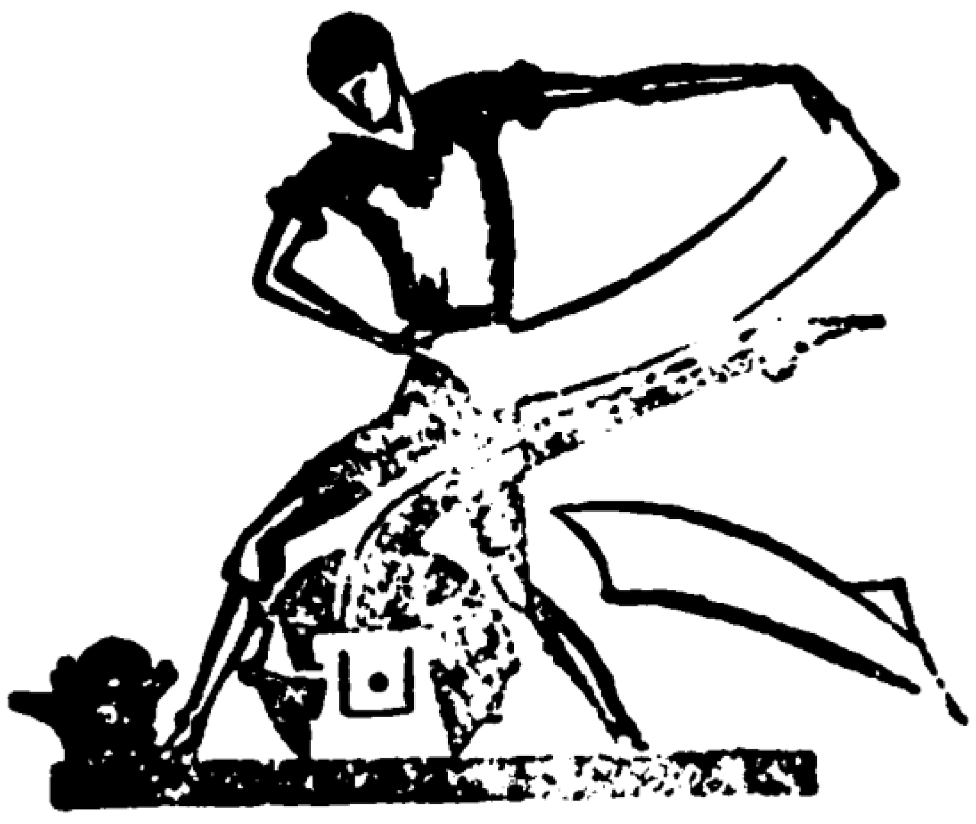
而して、我等の理論。我等の戰術は、常に其客觀的事實に依據されなければならない。然るに「我等に最も缺けて居るものは、廣汎なる意味に於ける政治に關する知識である。」

しかも「普選の實施を機として、我國無產階級は、いまや、政治戰線に總動員されなければならない。」

此の時に當つて、本書は大衆的要求たる政治知識の普及に努め、其の携帶の便と、其の價格の廉少とは、相待つて、たゞに政治戰線に積極的參加をなすものにとつてのみならず、政治知識を切實に要求しつゝある全無產者にとつて、恐らく編者の云ふが如く、「不可缺の武器たり得るであらう。」

(同人社發行、定價壹圓)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



或る手紙

ペーター・シユヌール

お母さん！

　私にはあなたの苦しみがよくわかります。あなたの心から憧れてゐられる望も願ひも、未だ一度だつて滿たされたことがないのですからね。私は憶ひ出します、まだ子供だつた頃、あなたが私を双つの腕で抱きながら涙の中で、あなたの悲しさと苦しさを話されたことを。その時、私は言ひましたね、我慢して下さい、お母さん、僕が大人になつたならばきつとあなたをこの苦しみと悲しみから救けてあげますよ。僕がお母さんと一緒に暮して、愉快に樂しく日を送れる樣にして上げますよ。この幼い子供の言葉は、あなたの涙を止めあなたの萎んだ心を明るく強くしました。あなたはこの言葉を信じ、きつとその通りになるだらう樂しい希望を持つたのでしたネ。何年かたちました。

……私は職をおぼねて、仕事を探すために、靜かな生れ故鄕を去りました。若人よ、進め——世界はお前のものだ！汝、豐かなる智識を集め見聞を廣め、有爲なる人物となつて故鄕に錦を飾るのだぞ。その時、あなたは大層悲しまれて、何くれと心配されました。が、私は元氣で希望に溢れて、たゞそんなことを考へてゐたのでした。力を養つて、あの子供の言葉をきつと大人の行爲にして見せるぞと思つてゐたのでした。

　私は多くの大都市に住んで、毎日、毎週、毎月、毎年、働き通しに働き續けました。働いて得た金で、私は食つたり着たりしなければなりませんでした。つまり、ひどい、へと／＼に勞れる仕事によつて儲けた金を、またすつかり吐き出してしまわなければならなかつたのです。食ふことゝ着ることで、毎週々々、それは使ひ盡されました。一人立ちの職人になるのに必要なだけの金をためる爲に、倹約をしろ、と言ふあなたの何時もの戒めを、私は一生懸命に守らうと心懸けました。遊ぶことを止め、生活を簡單にして、私は儲けた金の幾分を残すことが出來ました。それが、あなたの、——愛するお母さんの——ために、美しい

幸福な未來を築く土臺石になつてくれたらと考へて、私は嬉しくてなりませんでした。

　或日のこと、私は　　な通知をうけました、製造する品物が賣れないので、工場が事業を止める、で私とその他の仲間を解雇すると言ふのです。何日かゞ、そして何週間かゞ過ぎました。私は工場から工場をまわつて歩きました、だがどこでも同じ答でした、仕事はない、雇ふわけには行かぬと。私はあなたの未來のための土臺石がだん〴〵消ねて失くなるのに氣がつきました。それは私にとつて悲しい事でした、私は腹を立てゝも見ました、だがさうかと言つて食はないわけには行きません。やがて蓄へた金はすつかり使ひ盡されました、で、私はどこか他の街で仕事を見つけようと思ひました。

　私は街から街へとさまよひました、來る日も、來る週も、私は職工仲間の組合の助けで食つて行きました。だが、それでもパンの片を乞食のように貰つて食はねばならぬことが屢々ありました、幾度も幾度も私はことはられました、それどころか、侮辱の言葉を頭からあびせかけられることも少なくなかつたのでした。人は私を怠け者だと言ひました。私はこの言葉を聞くに堪ねず、私自身に恥ぢました。だが仕事はありません。こうして數ケ月が經ちました、その間を私はずつと路傍ですごしたのでした。街から街へあてもなく、私はさまよつて行きました。まるで何か大きな力のある怪物に追かけられてゐるかのような氣がしました。後をふりかへつて見ても、何もゐるわけではないのだが、それでも私は追かけられてゐるような氣がするのでした。

　だが、到々また仕事が見つかりました。私の着物はぼろ〳〵でした。で、着物を買つて、人間らしい外裝(ナリ)をするために、また儉約した生活をしなほさねばならなかつたのでした。またお母さんのための土臺石も、もう一度集めようと思ひ立ちました。二年間、休まずこつ〳〵働いた後、私はまた良い着物と幾らかの貯金を殘しました。ところへ、また失業です、貯金は使ひ盡されました。これがあなたにお別れして以來の長い年月の間の、私の身の上なのです。仕事、つゝましい生活、儉約そして失業。

　お母さん、私は全く落膽しました。何時かはあなたの未來を保證出來るだらうと言ふ希望は消えてしまいました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

私はどうしても次のように考へざるを得なくなりました。私は勞働者なのだ、プロレタリアなのだ、そこから逃れ出ることはどうしても出來ない一つの階級の中の一人なのだ、と。この階級はだん〳〵數を增して行き、多くの一人立の職人もまたその中に落ちて行く、ことが解りました。私の階級の多くの人々は、たいてい私と同じような生活をして居ります。私の仲間には老人も澤山ゐます。その人達も嘗つては平安な幸福な日を望んだこともあつたのですが、今尚、私と同じように勞働し生活してゐるのです。だが然し、私は私の階級が美しい偉大な希望に溌溂としてゐることを知りました。あなたは御存知でせう、此の階級は他の階級、金持の階級から支配され壓迫され搾取されてゐます。金持ちの階級はこの支配のお蔭げで安樂な生活を送り、吾々の階級は苦しんでゐるのです。吾々の階級の間には一つの理想が生きてゐます。それが金持の支配を失くして自らを解放し、金持ちも貧乏人もない、各人が有用な勞働を行ひ、愉快な樂しい生活を送るために必要なすべてのことが保證される制度を造り出すための闘爭に勞働者を振ひ立たせるのです。

私はこの理想を非常な喜びと熱とをもつて受入れました、この理想を實現させることによつて、より良い、より美しい未來を、あなたに、お母さんに、あらゆる貧乏人に、困苦の中に暮してゐる人々に、保證する新しい制度が創られることを知つたからです。

私はまた元氣と希望に滿ちて來ました。解放のために戰ひつゝあるこの强大な階級の一員であること、戰士の第一線に立つてゐるこの集團の一員であること、それを誇りと感ずるようになりました。

吾々の目的に近づいたと思つた時、支配階級は戰爭をおつぱじめて、各國民を互ひに憎み合せました。掠奪され、破壞され、虐殺されて、遂に數百萬の人間が、不具にされ、殺されてしまひました。私の階級は、その戰爭のため、ひどく悩まねばなりませんでした。そして、だん〳〵金持の支配に對して怒りをいだくようになりました。

然し、遂に革命の總勘定が來ました。けれども、總勘定が根本的に行はれたのは、たゞある一國だけにすぎませんでした。たゞ一國だけで、金持の支配が根こそぎに無くされました。そこでは、今や勞働者が新しい制度をうち立て

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

始めてゐます。吾々は未だ解放される迄でには行つてゐません。こいふわけは、吾々のうちには卑怯者こ裏切者が多すぎるからです。吾々の戰線は新に作られ、鬪爭は再び始まり、そして吾々は勝たなければなりません。吾々は迫害されるでせう、吾々は苦しまねばなりません。若し私が投獄され、私が危險に瀕してゐるこ言ふここをお聞きになつたならば、あなたはきつこ私のために悲しみ私のために心を勞せられるでありませう。私にはよくそれがわかります。だけれごも、お母さん、これはごうしても避けるここの出來ないことです。私にはあなたをお慰めするここは出來ないのです。金持ごもは支配權を放棄しようこはしない、そして私の階級は長く彼等の支配をそのまゝにしておくここを欲しない。決戰はすでに始つてゐます。吾々は戰ひに臨まなければなりません。吾々は敵か然らずんば味方の側に立つて戰はねばなりません。吾々の階級に屬してゐる者はすべて吾々の側に立つて戰はねばなりません。敵の側に立つて戰ふ奴等は裏切者です。そして、今鬪爭から逃げ出す者は卑怯者です。

苦しい生活の經驗を通じて、私は鬪士の列に加はりました。そして金持の支配こ、彼等の制度を憎惡するここを學びました。殘酷な支配に反抗して起つた戰鬪に參加した時、私は始めて生き甲斐を感じました。吾々の鬪爭は、吾々の勞働によつて富み、贅澤極まる生活をなし、吾々の階級を侮辱し、吾々を勞働動物のように考へてゐる奴等に向つてなされるのです。吾々の解放戰は美しくそして正しい戰ひです。歴史始つて以來人間によつてなされた戰鬪のうちで最も莊嚴な戰鬪であります。重要なここは、人間を搾取したり、抑壓したりするここを盡くなくしてしまふここです。人間を貧困こ苦惱から救ふここです。お母さん、おわかりでせう。それは立派な善いここです。そのために、私は自分の全精力をさゝげます。あなたが私の言つてゐるここを解つて下さり、あなたの息子は何かよいそして美しいここのために自分を捧げてゐるこいふここをお解りになつて下されば——と、たゞそれだけが私の望なのであります。

現段階に於ける資本主義安定の諸題（一）

薄 茂人

貿易の著しき改善

この調査は相當長期に亘る豫圖をもつて、筆をおろしたものであるが、米國商務省のコムマースレポートによると、一九二五年の世界（五十五ケ國）貿易は、五百八十五億ドルで、前年より一割三分四厘、戰前の一九一三年より五割四分三厘を増加した。また物價を考慮にいれて、戰前を基準として換算するも、貿易の數量は戰前の狀態に恢復してゐる。

この事實は、わが貿易の上にも、またあらはれたのである。

左表を見よ。大正十四年（一九二五年）の貿易總額は、四十八億七千八百萬圓で最高潮期の大正九年をしのぎ、前年より六億千八百萬圓を増加する。また總額に對する輸出の割分は、四割七分で前年より五分を増し、大正九年より二分少ないだけだ。

次ぎに輸出入の差引勘定をみると、入超は前年の六億四千六百萬圓から、二億六千七百萬圓に激減し、物價指數は、恐慌後大正十三年を最高として下向きに轉向したるを見る。

しかるに大正十五年は、前年より物價は著しい下落をしたが、貿易はやゝ振はなかつた。これは後段說くであらふ如く爲替の恢復——物價への影響、輸出入の上に與へたる影響——に主としては關係するところであり、それはまた安定の途上にある諸問題の一つとして、理解し得らるゝところである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(一) 輸出入貿易年表

	輸出			輸入		
	輸出總額	輸出入總額に對する割合	輸入總額	輸出入總額に對する割合	輸出入超過	物價指數平均
大正二年	六三二、四六〇	四六	七二九、四三一	五四	入 九六、九七一	一三二・一
三	五九一、一〇一	五〇	五九五、七三五	五〇	入 四、六三四	一二六・三
四	七〇八、三〇六	五七	五三二、四四九	四三	出 一七五、四五七	一〇一・六
五	一、一二七、四六八	六〇	七五六、四二七	四〇	出 三七一、〇四〇	一二二・九
六	一、六〇三、〇〇五	六一	一、〇三五、八一一	三九	出 五六七、一九三	一五四・七
七	一、九六二、一〇〇	五四	一、六六八、一四三	四六	出 二九三、九五六	二〇二・六
八	二、〇九八、八七二	四九	二、一七三、四五九	五一	入 七四、五八七	二四七・八
九	一、九四八、三九四	四五	二、三三六、一七四	五五	入 三八七、七八〇	二七二・八
一〇	一、二五二、八三七	四四	一、六一四、一五四	五六	入 三六一、三一七	二一〇・八
一一	一、六三七、四五一	四六	一、八九〇、三〇八	五四	入 二五二、八五六	二〇六・〇
一二	一、四四七、七五〇	四二	一、九八二、二三〇	五八	入 五三四、四七九	二〇九・五
一三	一、八〇七、〇三五	四二	二、四五三、四〇二	五八	入 六四六、三六七	二一七・三
一四	二、三〇五、五八七	四七	二、五七二、六五三	五三	入 二六七、〇六六	二一二・二
一五	二、〇一五、六九九	四六	二、三四四、五四五	五四	入 三二八、八四六	一九九・〇

備考 イ、單位千圓、ロ、物價指數は大正三年七月を基準とする日銀調査に據る、但し十五年度は十一月中旬までの平均

貿易品目に現れたる生産の再組織

さうに第二表を見よ。

輸入超過の趨勢にあるは、食料品と原料品で、輸出超過の趨勢にあるは、原科用製品と全製品である。

原料品の輸入は大勢よりみて、あながち悲觀材料とはならぬ。食料品は大正十四年に於て最高の記録を示したが、多く

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

は粗製食料品の增加で、一方には製精食料品の輸出增加——砂糖、茶、罐詰其他、數量と共に——がそのために帳消しにされてゐる。

次ぎに輸出超過の趨勢を辿るところの、原料用製品は、大正九年、全製品は大正十二年をいづれも底として、前者は大正十四年、後者は大正十五年に於て、最高の記錄を現してゐる。このことは物價の下落を計算にいれるなら、高低の開きは、もつと大きくなる。

假りに二つの、輸出高をあげてみる。(單位千圓)

	原料用製品	全製品
大正十年	五五〇、八〇〇	五二四、一七五
十一年	八四二、四三一	五八一、九五六
十二年	七〇〇、七六一	五五七、七一六
十三年	八六二、二二五	七〇五、五六九
十四年	一、〇八九、九〇四	八七八、四七九
十五年	八八一、八六三	八五二、一一二

二つの製品の輸出が、增加しつゝあり、しかもまた、この製品の輸入は減少しつゝある。それは生產の再組織の進行を、雄辯に說明するところである。

(二) 貿易品々別輸出入差額表

	食料品	原料品	原料用製品	全製品
大正二年	△五八、四四〇	△三〇二、二〇二	二〇一、一五七	六〇、八八五
三	△一五、二一五	△二八三、二四九	二一〇、一〇一	八〇、六四一
四	四一、九七六	△二九四、四一三	二二五、〇二四	一九二、三九四
五	七三、一〇九	△三七二、八九〇	三三九、三六三	二九五、七二一
六	一三五、三四二	△四八三、一二六	四〇三、〇七〇	四八四、四五〇
七	三四、六五三	△七五三、三一六	二九八、六一〇	六八四、四五一
八	二〇一、四六三	△九八五、四八四	四五四、七四四	六四〇、二六三
九	△八〇、一二三	△一、一二〇、〇〇一	一六九、五〇四	六三四、五三四
一〇	△一二八、六四七	△六七七、六一一	二二六、六六九	二一二、七〇六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一一	△一八五、四四〇	△七四三、三一二	四五一、八五九	二一六、五七七
一二	△一六〇、四五七	△九一六、四九九	三四一、九八〇	一九九、五八七
一三	△二三四、七八〇	△一、〇六一、七〇六	四〇九、九五七	二三三、五〇一
一四	△二四四、六九七	△一、三二八、七二〇	七六一、五〇八	五二九、五七三
一五	△二〇二、九八五	△一、二〇一、六六八	五二四、六八二	五三七、一三〇

備考　イ、單位千圓、ロ、△印は入超、他は出超、ハ、貿易總額の昨年は約一分一厘にあたる雜種品目を除く。

對支輸出貿易の恢復

わづらはしき數字から〱一轉して、眼界を對外關係にそゝひでみる。對米輸出貿易は、戰前の大正三年は一億九千六百萬圓、(物價指數一二六)戰後の全盛期なる大正八年は八億二千八百萬圓(物價指數二四七)である。これに對し恢復の道程に這入つた大正十四年は十億六百萬圓で(物價指數二一二)前年より二億五千二百萬圓を增してゐる。

しからば對岸の支那はどうか。

先つ支那自體の貿易を見る。民國關稅統計局の「中華民國外國貿易」に據ると、一九二五年(民國並に大正十四年)は、一九一六年にくらべると、輸出に於て六割、輸入に於て八割四分を增加する。關稅收入は、內亂の相次ひでおこつた一九二五年ではあつたが、七千七十二萬六千海關兩で、前年より

も多く、また毎年增加してゐる。

わが對支貿易は、輸出に於て、次ぎの如くあはたゞしくも、恢復の段階にあるを見る。

(三) 對支貿易指數(大正二年を百とす)

	輸出	輸入
大正二年	一〇〇	一〇〇
三年	一〇六	九六
四年	九〇	一一八
五年	一二八	一四六
六年	三一三	一九一
七年	二五九	三八七
八年	三一七	五二七
九年	二八七	四七八
十年	二〇八	三六四
十一年	二二八	三七四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十二年	一九三	四一一
十三年	二三九	四七〇
十四年	三〇八	三五六

備考　大正四年は廿一個條問題、大正八年は山東省問題、大正十年は旅大回收問題で、日貨排斥運動の行はれたことに注意されたい。

支那は今や、世界資本主義の安定の、關鍵を搖り動かしつゝあるやに見ゐる。

もちろん對支貿易の上に、影響のおこることは免れぬが、しかし、このことは手元に若干の資料をまとめてあるから、別の機會に讓ることにしやう。

貿易外收支勘定

貿易が、いかなる段階に安定したるかを見た。次いで貿易外の收支勘定をみなければならぬ。

第四表の如く、大正十一年より徐々に改善されてある。

しかるに大正十四年が、前年より七百八十萬圓の受取超過増にすぎなかつたは、外債利拂ひの増加に禍ひされたことが大きな原因である。震災復舊公債並に電力社債の外債の増加に基くは注　すべきである。だがわが對外投資利益、移民送金、海運、保險料等、受取勘定の主要なるものは、いづれも前年より増加してゐる。

(四)　貿易外純收支勘定

	受取勘定	支拂勘定	差引受取超過
大正二年	一四六、二〇〇	一五九、六〇〇	△一三、四〇〇
三	一四四、二〇〇	一五〇、七〇〇	△六、五〇〇
四	二二三、九〇〇	一五四、八〇〇	六九、一〇〇
五	四四一、〇〇〇	一六四、〇〇〇	二七七、〇〇〇
六	六三四、八〇〇	二一九、三〇〇	四一五、五〇〇
七	八九五、三〇〇	三一七、三〇〇	五七八、〇〇〇
八	九一五、〇〇〇	四一〇、六〇〇	五〇四、四〇〇
九	八三七、二〇〇	四一六、四〇〇	四二〇、八〇〇
一〇	五六二、三〇〇	三六六、五〇〇	一九五、八〇〇
一一	四七九、九〇〇	三二五、三〇〇	一五四、六〇〇
一二	四六〇、七〇〇	二九〇、九〇〇	一六九、八〇〇
一三	五一八、四〇〇	三五六、二〇〇	一六二、二〇〇
一四	五六五、〇〇〇	三九五、〇〇〇	一七〇、〇〇〇

備考　イ、大藏省調査による、但し單なる資金の移動にとゞまるものを除外す、ロ、單位千圓、ハ、△印は支拂超過、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

列國の對支投資について（一）

荒木五郎

（一）はしがき

廣東政府の反帝國主義運動は目下あらゆる方面に深刻な波動を與へつゝある。英、米、日の帝國主義國家が支那を中心に或は協調し或は對立を深め、そして相共に行き詰まりつゝある。過般の支那關稅會議において膨大なる『對支未整理債務の整理』が關稅增徵の代償として高唱され、此點においても金融資本の關稅政策を明に看取することは出來たが、結局、支那民衆の國權回復運動を機とする反帝國主義運動のために、北方政府の動搖が、延いては飽くまで從來の不平等條約の上に安住せんとする英國に口實を與へて關稅會議は中絕することになつた。

而して最近の狀勢によれば廣東政府は既にその關稅方策として二分五厘（普通品）五分（奢侈品）の附加稅を增徵中であり、北京政府も二月一日より同樣の附加稅增徵を爲す旨の宣布をした。日本は早くも反對表明をなし、英國は國內勞働黨の要望により、附加稅承認の聲明を發したが、反つて南北兩政府の反感を買ひ、他方日、米の信賴を失つた。南方軍總司令蔣介石は、日•米も共に帝國主義的國家だから排擊しなければならない旨を聲明した。かくて日、英、米は漸次支那における從來の地步を失ひつゝある。

世界不安と永久恐慌の一つの表現が支那の擾亂を通じて鮮明に現はれ始めた。日、英、米の帝國主義國家はその從來の搾取地の背反によつて國際的協調を痛感しながらも、皮肉にも益々意識的に對立關係に入つて行く。早くも第二次帝國主義的戰爭が支那を舞臺として展開すべく暗示されてゐる。筆者

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

はかゝる情勢を前にして、列國の(一)對支借款、(二)事業投資、(三)貿易等につき概観を試みやうとする讀者のために忠實なる素材を提供しやうと思ふ。

(二) 對支未整理借款

A 日本の對支債權

列國政府の對支債權については現在まとまつたものとしてはイ・シ・リチャードスンの調査もあるが、これには外交上機密に亘るものは除外されてゐるので、こゝでは主として外務省、拓植省方面、大藏省方面の資料によりリチャードスンのものを參照することゝした。日本の支那政府に對する未整理債權を財政部、交通部の二部に分てば、

一、財政部(十四年末未拂元利)

借款名	債權者	金額(千圓)
南京政府軍需借款	三井洋行	二・八一九
陸軍部銃器	泰平公司	一八五
陸軍部被服	三井洋行	二・五四〇
華寶公司庫券	大倉洋行	一・九八二
第一次軍器	泰平公司	一九・一二二
印刷局	三井洋行	三・一四四
電信	中華滙業	二一・一八五
吉會線前渡	興業銀行	一〇・三七六
第二次軍器	泰平公司	一三・六五五
吉林黒龍林礦	中華滙業	三一・一六四
滿蒙四鐵道	興業銀行	二〇・八一五
濟順高除	興業銀行	二〇・八一五
參戰借款	臺・興・鮮	二〇・四一六
海軍部軍器	三菱公司	七二六
督辦參戰留用陝械庫券	泰平公司	一・三五三
留日學費	臺灣銀行	一五五
駐日公使館武官	三菱銀行	四五
漢陽兵工廠	東亞通商	五六〇
電信林礦及福建省借款	中華滙業	九二
督辦邊防軍	泰平公司	七二
鋼元局	東亞興業	四・〇三七
西北軍器運送保險庫券	泰平公司	一三一
林礦借款第一次付息墊款	中華滙業	一・二八〇
靑島公産及び塩業償價日金庫券		一四・五七八

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

電信借款付息	中華滙業	三・八九三
滿蒙・吉會・山東・各路第二次付息	興業銀行	八・五三八
林礦第二次付息	中華滙業	二・七二五
林礦電信第三次	中華滙業	八・七四三
山東吉會第三次付息	興業銀行	五・五三七
林礦電信第四次	中華滙業	三・〇四一
滿蒙山東第四次	興業銀行	五・五五一
第一二次軍器付息	泰平公司	一六・八二七
參戰付息	臺・興・鮮	一〇・四八一
計		二五六・五八三

右の內、所謂西原借款と知られてゐるものは總額壹億四千五百萬圓で、利率及び擔保は左の如くである。

借款名	起債額(單位百萬圓)	利子	擔保
吉會鐵路	二〇	七・五%	本鐵道一切の財產收入
濟順高除鐵道	二〇	八%	本鐵道一切の同上產收入
滿蒙四鐵道	二〇	八%	同上
林礦借款	三〇	七・五%	金礦及び森林
參戰借款	二〇	七%	稅制改革後の新稅
交通銀行借款	二〇	七・五%	支那政府保證國庫劵
水災救恤借款	五		
有線電信借款	二〇	八%	有線電信財產全部及其收入
計	一四五 百萬圓		

二、交通部(リチャードソン調査による)

借款名	債權者	金額
京漢鐵道	正金銀行	一〇・二九〇
四洮鐵道	滿鐵	一三・七〇〇
津浦鐵道	東亞興業	二・四二一
同津浦鐵道	同	三・二五八
京漢鐵道	三井洋行	九四四
津浦鐵道	三井洋行	三・四四〇
京綏鐵道	同	三・九九八
同	大倉洋行	四九
同	東亞興業	三・〇四一
電信借款	同	二七三
同	日清工業	二・六三四
同	古河洋行	二・四九〇
同	中華電業	一四

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

電信借款	日清工業	一二・二一四
同	東亞興業	三・六三八
計		六二・四〇九
總計		三一八・九九二

數字の羅列は興味を減ずる嫌はあるが、未整理債權と關税この關係を見るためにしばらく列國の債權を調べることにするが、簡單に表別すれば、

債權者國別による債權（一九二四年末推定）

	財政部	交通部	合計
英	二八・四七九千元	三八・九五六千元	六七・四四五千元
米	二三・〇四一	二六・二三四	四九・二四八
日	一四九・七〇五（大正十三年六月）	六二・四〇九（大正十三年六月）	三一八・九九二
佛	二八・〇三五	一五・〇四八	四三・〇八三
白	一八五	九・五二五	九・七一一
其他	四八・二二七	二九	四八・二五七
計	二七七・六四七	一六八・八八六	四四六・五三四
追加利息（百萬圓）			
十三年六月末まで	一〇〇	一九	一一九
通計	三七七・六四七千圓	一八七・八八六	五六五・五三四

即ち支那政府の未整理債務は推算五億六千五百萬圓であるが、此數字は推算で、しかし秘密契約になるものは除外されてゐる。（例へば日本債權中財政部のみにて本調査と前掲十四年末の官廳調査との間には約一億の差がある點から見ても實際額はなほ相當に多額に上ることが想像出來やう。

而してこの未整債權においては日本は斷然他國を拔いてゐる。從つて關税會議において、日本側が主として增徵の代償として未整理債務の擔保とすることを主張し、英國がこれに反對した理由もほゞ察せられるわけである。次に事業投資方面を概觀しやう。先づ滿洲方面においては（大正十二年五月）

一、日本の商法による邦人會社（單位千圓）

事業別	會社數	公稱資本	拂込資本
農業	二二	三〇・一一一	八・九六一
林業	七	四・四六五	二・三六五
水產	五	一・六〇二	九八七
鑛業	六	九・一八五	三・一八五
工業	二八四	一三五・六〇〇	五九・三〇〇
瓦斯電氣	一四	五・九八五	三・一七〇
商業	三五三	一五二・〇〇〇	五六・〇〇〇

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

銀行	二四	六四・三七五	三〇・四三六
信託	八五	八二・二二五	二九・三〇三
運輸	七二	五七七・二一〇	三一九・七九二
倉庫	一三	一〇・〇六七	三・〇三五
保險	一	二・〇〇〇	五〇〇
計	八八五	九五五・四二五	五一六・八一三

統計の年代が稍々古いのは遺憾であるし、特に注目すべきは一時期の平面的の數字より、一定期間内における變遷の過程と、それが暗示する傾向を見定むべきであるが、これは引續き近き將來の調査にゆづることゝする。（十二年五月）

二、日支合辦事業における投資額（單位千圓）

本溪湖煤鐵公司	七・〇〇〇
鴨綠江採木公司	三・〇〇〇
營口水道電燈公司	二・〇〇〇
鐵嶺電燈局	一一〇
三泰油房	三〇〇
潘陽馬鐵公司	二・〇〇〇
日清燐寸公司	三〇〇
信〇公司	一五〇
鴨綠江製材公司	五〇〇
大連取引信託	一・五〇〇
開原取引信託	五〇〇
長春取引信託	二五〇
天圖鐵道	一・〇〇〇
遼陽電鐵公司	一二〇
正隆銀行	三・〇〇〇
正陽銀行	三・〇〇〇
龍口銀行	二〇〇
滿洲南圖會社	三〇〇
計	二四・九六〇

而して右投下資本を本邦財閥別に分類すれば、

一、三井系　計　百拾萬圓

三泰油房	拾六萬圓
大連マッチ	參萬七千五百圓
安東縣、吉林の森林業に	八拾萬圓
その他	六萬圓

二、三菱系　參拾八萬

滿蒙殖產株式會社	廿五萬圓

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

吉林木材　拾參萬圓

三、大倉系　壹千貳百萬圓

鴨綠江製材無限公司　五百四拾四萬圓

吉林製材公司　卅萬圓

鴨綠江製紙株式會社　六拾貳萬五千圓

本溪湖煤鐵公司　五百萬圓餘

四、安田系　五百廿五萬圓

正隆銀行　貳百五拾八萬圓

滿洲興業　百七拾五萬圓

滿蒙纖維工業　卅貳萬圓

東海林實業公司　六拾萬圓

五、鈴木系　八拾萬圓

鈴木油房　五拾萬圓

南滿製糖　拾五萬圓

南滿精米　拾參萬圓

六、王子製紙系統　貳百廿五萬圓

富寧造紙公司　廿五萬圓

華森公司　百萬圓

黃川公司　百萬圓

以上總計參千萬圓にすぎず。滿洲におけるわが資本閥の勢力は言ふに足らざるを見る。而して投資企業の收益率は滿鐵を除けば逐年低下しつゝあり。日本の資本輸出が困難となりつゝある所以は、從來海外資本主義國家の進出に對する反抗運動、國權回復運動——反帝國主義運動が漸次濃厚になりつゝあるによるであらう。

次に上海を中心とする長江方面、山東方面への投資、貿易等は引續き次號に連載することゝする。(未完)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

國內戰線

勞働農民黨第一回全國大會

さきに、プチブルの社會民主黨、續いて日本勞農黨が創立大會を開いた、同一の東京芝公園協調會館に於て、十二月十二、十三の兩日にわたり、わが勞働農民黨は第一回全國大會を開催した。

この大會に於て、先づ第一に無產者の大會らしい感じを來會者全部に與へたのは、演壇の背後にかざられた千葉縣支部聯合會の寄贈にかゝる『萬國の勞働者農民團結せよ』の標語を掲げた舞臺一面の大ポスターであつた。けれどもこれは官權の干涉の爲めに暫次にして取りさられてしまつた。集まるもの遠くは九州北海道を初めとして代議員總數百二十五名、傍聽者は堂にあふれ、眞に勞働者農民の大會としての元氣が見受けられてゐた。かたの如く開會の辭、議長選擧、經過報告、各種委員の任命を終つて、細迫書記長の一般情勢報告、續いて各支部聯合會代表者の各地方情勢報告があつたが、早くも大會中第一の問題としてみられてゐた日勞黨との合同は、頗る困難なるかの空氣がみちて居た。

提出議案中（議案は前號國內戰線記載と略ぼ同樣）第五、六、七、八號は初めて勞農黨に於てのみ見得べき議案であつて、特に第八議案『衆議院議員の歲費に關する決議案』

一、衆議員議員の歲費は黨の收入とす。

但し黨本部に於て公認候補者の立候補保證金を調達し得ざる時は之を調達したる支部聯合會又は支部の收入とす。

議員の生活費は歲費を收納したる本部支部聯合會又は支部より之を支給す。

議員の生活費は一ケ月百圓を超ゆる事を得ず。

の如きは、金儲けの爲めに代議士となる既成政黨員を諷して痛快な皮肉であつた。

だが、兩日を通じて最も注意を引いたのは開會前から問題となつてゐた第十九議案『日本勞農黨に對する態度に關する件』であつた。

これより先、日本勞農黨は右勞農黨の合同案に對して

一、我等は單一無產政黨の結成に對しては十分なる誠意を有するも我等が別に日本勞農黨を結黨したる精神は斷じて滅却するを得ず。故に勞働農民黨が自ら黨內の左翼小兒病者を排除整理して來らざる限り、然して社會も我等も整理後の勞働農民黨が我日本勞農黨の立黨の精神と全然同一なるを認むるに到るまでは斷じて合同せず。

一、從つて今直に兩黨より合同委員をだすが如きは我等の夢想だにもせざるところとす。

と十一日聲明書を發表してゐた。

果然本議案は熱烈な討論となり、議場は深刻な緊張裡に風正に樓に滿つるの有樣を呈した。暫時懇談の後本部案は否決されて合同反對案が多數を以つて可決された。

決議

一、勞働農民黨と日本勞農黨との合同に關しては日本勞農黨現在の指導精神にして變更せざる限り絕對に反對す。但し日本勞農黨より合同の提議ありたる場合はこれに對し十分なる誠意を有す。

二、今後合同が可能となれる場合の合同條

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

件に關しては本大會の精神を失はざる範圍に於て中央執行委員會に一任す。

三、社會民衆黨、日本農民黨の排撃に關し**共同戰線を張るべく日本勞農黨に對し共**同委員會の設置を提議す。

次で左記宣言を可決し、新役員を決定して大會は終了した。

宣言

我等は自己の傳統的解放のため、或は都市に或は農村に、久しく資本家乃至地主に對する力强き鬪爭を續けて來たが、我等は我國資本主義の最近に於ける必然的發展によつて、單なる經濟鬪爭による無產階級の解放が、一沫の空想に過ぎざることを敎へられた。即ち我等無產階級は一致協力共同の戰線を張ることによつてのみ自己を解放し、從つてまた我等に課せられたる歷史的使命を果し得べきを知り、無產階級が資本家階級の牙城に向つて全線的政治鬪爭を開始するの絕對的必要はひとしく我等の意識するところとなつた。かくて我が勞働農民黨が全無產階級の輿望を擔つて本年三月結黨式を大阪に擧げてより既に九ケ月の日子を閱した。その間我黨は外部的壓迫と內部的波瀾とによつて釀されたる數次の危機を突破して漸次その實力を涵養し、今や確乎不動の基礎を確立し得て、今日我が無產階級運動史上に特筆さるべき第一同黨大會を開催するに至れることは、我等の最も欣幸**とするところである。**

我黨は、その本質に於て、代議士を中心とする黨員のみの利害を代表し、議會內の鬪爭のみを目標とせる既成政黨とその規を一にするものではない。我黨は更らに黨員たると否とを問はず、我等と境遇を同じうする大衆の利害を代表し、眞正なる輿論と牢固たる團結とを武器とし、常住の日常鬪爭によつて全無產階級の政治的經濟的社會的解放を達成せんとするものである。

頃者無產政黨の名を潜稱して暗に資本家と野合し、或は密に地主と握手する似非無產政黨の簇出せることは、全國無產階級と共に、我等の唾棄して措かざるところ、彼等は實に無產階級を籠絡して之を資本家階級に賣らんとするものである。我等の純眞なる階級的良心は、到底かゝる群小諸政黨の存立を容認することを許さない。我等は良心の命ずるところに從ひ斷乎として之に戰を宣するものである。

更にまた最近に至つては、我黨の舊僚友たりし同志諸君によつて新に日本勞農黨の結成を見るに至つた。我黨は立黨の當初より主張し來つた全國的單一無產政黨の大方針に則り、更に本大會の精神に基き、私情を棄てゝ大義につき、之と合同して眞の無**產階級的單一政黨たるの實を擧ぐるため、**最善の努力を惜まざるものである。我等はかくてこそはぢめて我無產階級政治運動に一大光明を投じ、更に解放途上に前進の一步を印し得るものなることを確信するが故である。さりながら、我等は我黨の前途、將又全無產階級政治運動の前途が平々坦々たるべきを信ずるものではない。而も將來起るべき幾波瀾は決して我等の斷乎たる決意と歷史的使命の遂行とを阻碍し得るものでなく、單に我等を鼓舞し我等を勇躍せしむる經驗であり刺戟であり得るに過ぎない。よし波瀾よ來て我等を苛め、誹謗よ迫害よ來つて我を試鍊せよ。勞働農民黨第一回大會は不撓不屈の勇氣と確乎不動の階級的意識とを礪し、萬難を突破して全無產階級解放のため、既定の大方針大目的を提げて一路勇往邁進することを滿天下に宣言する。

大正十五年十二月十三日

新委員

中央執行委員長　大山郁夫

書記長兼會計　細迫兼光

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

中央執行委員　村上吉藏、堀芳七郎、福山正、大橋幸一、新津辰雄　竹内角次郎、△棚橋貞雄、宮向國平、鶴和夫、若槻清作、△秋和松五郎、阪本清一郎、高野清一、△前川正一、△岡崎一夫、△大道寛二、近内金光、久保田勇一、上村進、松本治一郎、布施辰治、(△は常任委員)

因に、大會決議に基き勞農黨の日本農民黨、社會民主黨排撃に關する共同委員會設立に對する提案は、また日勞黨から拒絶された。

勞農黨選擧對策委員選定

勞農黨では、來る五十二議會の解散による總選擧を前にして着々準備を進め、近く黨本部で候補者配分會議を開くについて、各支部にその地方の情勢報告を命じた。この調査要項は

一、各支部所在地選擧區内の全票數。
二、既成政黨の勢力關係。
三、既成政黨より立候補すべき員數及氏名の豫想。
四、各選擧區内の黨員數。
五、各選擧區内にある各無産團體所屬員數
六、本年七月までに增加すべき黨員數の豫想。
七、獲得し得べき票數の豫想。
八、立候補せしむるとすれば適當なる候補者の氏名、その他。

そして、一月十六日本部に常任中央執行委員會を開き、左記事項を決定した。

一、選擧對策委員に、上村(委員長)金田、岡崎、大道、細迫、島上、前川の七名を擧げ、支部聯合會或は支部代表者をもつて候補者配分會議を組織し、一月末第一回會合を開くこと
一、現行府縣稅戸數割施行細則中小作人の所得を勤勞所得として取扱はしむる件について縣會議員改選の直前に運動を起すこと
一、入黨費は三十錢を徴收しそれを引換に黨員手帳及び黨員章を交付すること
一、第二回請願デーにつき地方黨員に對し激勵の電報を發すると共に、東京に於ける請願運動の示威的會合の期日に關しては秋和大道をして他の團體と協議せしめこれを決定すること

日勞黨の總選擧對策

頭ばかりで支部をもたない日本勞農黨では、一月四日中央執行委員會を開き、本部の提案にかゝる

一、各地に支部組織を急ぐこと
一、對議會策に關すること
一、機關紙の内容充實に關すること

等に關して協議した。支部組織に關しては出來るだけ設立を急ぎ、組織不可能なる地方には、設立準備委員會を組織することに決し、目下のところ支部役立確定の地方は大阪府三島郡、同北河内郡、大阪市東區兵庫縣東播郡、同神戸市、伊丹。山形縣庄内地方。秋田縣鹿角郡。群馬縣新田郡栃木縣足尾町。福島縣常盤地方。東京市第四、第五、第六區。横濱地方。千葉縣北總地方。茨城縣北相馬、稻敷兩郡。九州大牟田市、飯塚地方。長崎市等。

そして、議會對策としては、解散の場合總選擧對策を講ずる必要の爲め議會對策委員會を組織することゝし麻生、村松、須永。三宅、吉田、三輪、細野、山崎、石山、山名を委員に擧げ、選擧に對する原則として

一、候補者は黨員中より立つるを原則とす但し他の無産政黨と提携したる時はこの限りに非ず
一、黨員は棄權せざること
一、法定數の得票可能なる地域に於ては、必ず候補者を擁立すること、但し一地區一候補とす

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の三項を決議したが、同黨候補者の當選圏內にあると認めらるゝ地方は、左の通りであると。

兵庫縣第一、二、三區。大阪府第三區。長崎縣第一區。福岡縣第三區。東京府第五、六區。栃木縣第一區。群馬縣第一、二區。山形縣第二區。秋田縣第一區。福島縣第三區。

尙ほ、同黨では大阪に日勞黨關西本部を設け、十三日左の役員を選定した。

書記長　山名義鶴。

財政部　吉田賢一、久留弘三、棚橋小虎

組織部　坂本幸三郎、藤岡文六、宮本純一、河井儀一、吉岡八十一

調査部　喜入虎太郎、宮本官治、坂本勝河野密、後藤貞治

社會民主黨總選擧準備

一月十三日、社會民主黨では本部に於て中央執行委員と、在京中央委員との聯合會を開き、選擧對策として地盤並に假候補者の選定について協議したる結果、先づ執行委員會の推薦候補者として

安部磯雄、鈴木文治、島中雄三、馬場恒吾、片山哲、宮崎龍介、松永義雄、河井榮藏、佐野剛藏

を選定し、ついで地盤の候補地としては、東京第二區(安部磯雄)、第四區(片山哲)第五、六區。神奈川縣第二區(鈴木文治)千葉縣第一區。大阪第一、三、四區。兵庫第二區。福岡第四區。和歌山第二區。奈良

の各地を決定し、選擧對策委員として鈴木、島中、片山、宮崎、赤松、松岡、渡邊、西尾、小山

を推し、他の無產黨候補地關係の交涉等選擧に關する一切の事項を一任することゝし、各地遊說日割を決定。なほ、左の如く選擧當面の政策並に議會解散の決議をなした。

決　議

我等は既に國民の要求により普通選擧制の實施せられたる以上、制限選擧に立脚せる議會は直にこれを解散し、總選擧により國民の意志を問はんことを要求す

總選擧に對する政綱として

一、選擧法の改正　(イ)選擧の年齡低下(ロ)婦人參政權の確立　(ハ)投票時間の公休制實施　(ニ)居住制限短縮　(ホ)保證金撤廢

二、貴族院特權の打破

三、言論、集會、結社の自由獲得

四、兵役應召者家族の生活保證

五、生活必需品消費稅全廢

六、普通敎育公費制の徹底、入學難の解決夜間中學の公認

七、完全なる勞働組合法の制定

八、完全なる小作法の制定

九、俸給生活者保護法の制定

十、醫藥救療機關の民衆化

十一、失業手當制の確立

の十一項を決定した。

西巢鴨町會議員選擧

東京市郊外西巢鴨町の町會議員選擧が、十二月十九日施行された。

西巢鴨町は、東京郊外の有數の大町であり、人口約十萬、有權者總數一萬三千餘あつて、組織勞働者の勢力は、極めて低く、評議會關東金屬、東京合同。市電自治會、鐵道從業員組合等に組織され、この活動分子は勞農黨東京北部支部に再組織されて、その數は約百名位ある。

かゝる情勢の下に、東京府下最初の普選たる町會議員選擧は行はれた。勞農黨東京北部支部では、同副支部長田口政吉君、社會民主黨は黨中央委員爲藤五郎君を公認候補とし、他に借家同盟下村利一君、市電自

治會の秋葉加藤君（勞農黨東京北部支部黨員であるが、黨支部の公認推薦を拒絕した）及び多田與三郎、原山誠一兩君の五名が無產候補として爭つたが、開票の結果は社會民主黨の多藤五郎君は二九六票の第五位、自治會員秋葉加藤君二四四票の十二位、借家人同盟下村利一君の一五〇票を得て三名が當選した。そして勞農黨の田中政吉君はいたましくも得票三〇で落選した。

勞農民衆黨結黨

第五十二議會益〻雲行き檢惡、解散はまぬがれざるものと見定めたが、似非無產政黨が地方に簇出する。名古屋で結黨式を擧げた勞農民衆黨もその一である。中部農民組合、製陶同盟等を中心として愛知、三重、岐阜三縣下の勞働者並に農民は一月十五日この結黨式を名古屋佛敎敎化會館で擧行した。鈴木楯雄開會の辭を述べ、名古屋向上會長西浦宇吉の經過報告、制陶同盟の荒谷宗治綱領、政策を朗讀し滿場一致可決、常任委員の選擧の結果

中央執行委員長　中澤辨次郎　△執行委員　大野金吉、同林鶴之助　△會計長　長瀨繁太郎　△書記長　鈴木楯雄當選

他中央執行委員二十五名を加盟團體に割當て〻選擧し、各役員は宣誓署名した。

八幡に社會民政黨生る

一月十六日、雨後の筍式に又社會民政黨が生れた。

官業勞働者のみの最初の政黨としての民政黨は、舊冬八幡製鐵所の研究會並に同志會によつて組織されたが、今度黨名を社會民政黨と決定し、出席代議員五百名、宣言綱領、黨規を可決し、中央執行委員長小屋原惣三郎、同副委員長村田宗次郎、書記長川內保に決定、綱領は左記の通りである。

綱領

一、我等は我國の國情に卽し勤勞階級を基調とする政治及び經濟制度の確立を期す

二、我等は資本主義の生產並に分配方法は國民社會政策を脅威するものと認め合法的手段によつてこれが制度の改革を期す

三、我々は社會進化の過程を無視する急進主義の政黨を排し並に特權階級のみを代表する既成政黨を排し議會の徹底的改造を期す

議會解散請願運動に關するテーゼ

第五十二議會は明かに全無產大衆の不信任を認められた所の舊選擧法によつて開催され、所謂絕對的專制的勢力と野合せる資本家階級の僞瞞政策の舞臺として利用されつ〻ある。

我等無產階級はこの專制的議會の解散を要求して、こ〻に議會解散請願運動を起し、凡ゆる反動勢力の僞瞞政策の本質を曝露し、かくして、又この運動を通じて眞實の無產大衆の政治的結成を遂げしめねばならない。

我國は一八六八年、歐洲先進諸國がまさに所謂平和なる資本主義的發展を開始しつ〻あつた時、明治維新に依て封建的政治關係を一掃し、こ〻に所謂近代的絕對專制的政治形態を樹立して資本主義經濟發展の途を開いたのであつた。

だが此の絕對的專制主義は資本家階級本來の政治形態ではない。故に我が資本家階級はこの明治政府の保護政策の下に資本主義的經濟關係が急速なる生長を遂げると共に、絕對的專制勢力に對抗して、ブルジョア民主主義獲得の鬪爭を開始したのであつた。かくて自由民權のスローガンの下に行はれた激烈なる鬪爭を經て、明治二十二年帝國議會の開設を見、次いで帝國憲法の發布を見るに至つたのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

けれども後れて發達した、我が資本主義に規定されて、我が資本家階級は當時未だ絶對的專制勢力の一切を掃蕩するに足る政治勢力に迄、生長してはゐなかつた。かくしてこの資本家階級の脆弱さは、我が議會政治をして比類なき高度の制限選擧法を伴ふ所の、ブルジョア民主々義と絶對的專制主義との混合型をとらしめたのであつた。

我が資本家階級の絶對專制勢力に對する軋轢は、其後我が資本主義の發展と共に展開した。特に世界大戰期に於て、我が資本主義が急激なる發展を遂ぐるや、この軋轢は更に新に激烈になつた。大正五六年に於ける小ブルジョアジーのデモクラシーの運動、大正十三年に於ける護憲運動等を經て、遂に大正十四年第五十一議會は、憲政會內閣の下に普通選擧法を通過するに至つた。

だが大正十一年の恐慌は、世界恐慌の導火線となつて、後れて發達した我が資本主義は、こゝに早くも世界資本主義體制中の決定的な一環として、その沒落の行程に合流し始めつゝあつた。我が資本家階級は絶對的專制勢力に對する鬪爭の爲めに、無產階級を動員すると同時に、又この新興勢力に對する決定的な鬪爭を開始しなければならなかつた。見よ、彼等は普選法と共に治安維持法を制定することを忘れなかつたではないか。かくて去る第五十一議會は資本家階級の專制的勢力に對する鬪爭の到達點たると共に、その沒落の出發點となつた。

今や我が資本家階級は絶對的專制勢力の遺物と完全に抱合した。そして彼等は、我が資本主義の急激なる發展の故に、今尙絶對專制的なる國家主義的思想を脫し得ざる農民及び小ブルジョアジーを彼等の指導下に組織して、新興無產階級に對するファシスト的反動豫備軍たらしめつゝある。而も彼等の觸手は、舊來の無產階級運動の中に、その協力者――日本農民黨、社會民衆黨等――を作成しつゝあることを忘れてはならない。

然らば、かゝる資本の陣營に對する我が無產階級運動の陣營は如何？　大正元年以來、勞働組合運動として勃興した我が無產階級運動は、世界大戰期に於ける資本主義の雄躍的發展に伴つて、大正七八年以來、急激なる生長を遂げ、戰後世界に漲つた革命的濤流の中に著しく革命的の色彩を帶びたのであつた。

かくの如くにして發展した我が無產階級運動は、大正十年を中心とする政治行動否認の時代を經て、大正十一年以來、著しく政治的傾向に向ふに至つた。此の傾向は大正十二年來、急激に發展し來つた農民運動に合流して、こゝに無產政黨組織となり、大正十四年十二月の農民黨創立、解散、翌年三月に於けるその再擧等を見るに至つたのである。

けれども我々はかゝる形となつて現はれた政治への傾向は、尙依然として從來の組合運動卽ち經濟鬪爭の目的に達せんがための政治行動――所謂組合主義的政治行動への集合に過ぎなかつたことを注意しなければならない。勞働組合を中樞とする組合主義の運動は、純經濟鬪爭にせよ、又その延長たる組合主義的政治行動にせよ、必然にその限界に到達する。組合主義の指導の下に、急速なる生長を遂げた我が無產階級の意識は、早くも此の組合主義の外殼の狹隘を感ずるに至つた。大正十四年に於ける總同盟の分裂は、無產階級をしてあく迄、組合主義の框內にとゞめ置かんとする右翼指導者より分離して、歷史的使命遂行への一步を踏み出さんとする無產大衆の決意の生長を物語るものである。

一方、右の分裂の前後から開始せられた

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

理論鬪爭は、我が無産階級の前衞をして、能く一切の組合主義的意識を克服せしめ、組合主義の陜隘なる外殼を打破せんとしつゝある大衆を指導して、其の全無産階級的政治鬪爭への轉換を遂げしむる前提――全無産階級的政治鬪爭意識――を戰ひ取らしめたのであつた。

かくて今や、我が無産階級は、經濟行動より政治行動へ、組合主義的政治行動より全無産階級的政治鬪爭へ、その方向を轉換し、其の歷史的使命遂行のための政治鬪爭の舞臺に上らんとしつゝある。

無産階級が現在立つところの以上の如き歷史的社會的地位と情勢とは、必然に、我々がいま、何を如何にして戰ひとるべきかを決定する。

我々はかくして、今やブルヂョア民主々義を獲得しなければならない。ブルジョア獨裁の一手段と化せる絕對專制的勢方を掃蕩して、我等の進路を淸めねばならない。

そして、そのためには、絕對專制的遺制に反抗する一切の要素――農村の被抑壓階級たる小農民の反抗、租稅徵收に關する警察の暴狀、地方自治體の自治を拘束せる官僚的支配等に對する小市民の不平、學校內の官僚的支配に對する學生の自治權獲得の運動、專制的遺制に虐げらるゝ婦人の運動、さてかの軍隊內に於て最も露骨に行るゝ差別觀念に對する全水平社大衆の政治的料彈運動等々――が我等の指導の下に、動員されなければならない。この全被壓迫民衆の政治的一大協同戰線――就中、無産階級と農民の協同戰線――は當に當面の目標たるブルジョア民主々義獲得のための鬪爭にとつて、必要なるのみならず、この鬪爭がやがて必然的に轉化すべき、無産階級の徹底的勝利のための鬪爭に備ふる絕對的必須條件なのである。

ブルジョア民主々義の獲得へ!! 我が議會解散請願運動は、全無産大衆の名によつて、現在の專制的議會の卽時解散を要求し、その本質を全大衆の目前に曝露しなければならない。

ブルジョア既成政黨はかくの如き大衆の要求を無視して、或は議會の解散を回避し、或は、所謂『怪文書事件』『松島事件』等の醜惡なる泥仕合の陰に 第五十二議會の專制的特質を蔭蔽せんとしてゐる、而も見よ! 社會民衆黨は積極的にこの行動に參加してゐるではないか? 日本勞農黨は議會解散運動を回避することによつて消極的に資本家階級の利益を擁護してゐるではないか? 我等は議會解散請願運動を通じてこれら諸政黨の態度の本質を曝露しなければならない。

かくして議會解散請願運動の全活動を貫く所の指導精神は第一に社會進化の一過程として嘗ては資本家階級が必然的に鬪爭獲得すべかりしブルジョア民主々義獲得のために被抑壓全大衆を政治的に總動員すること――ブルジョア絕對勢力に反抗する最も廣汎なる被抑壓大衆の政治總動員――であり、第二に全無産大衆を凡ゆる壓迫に對する政治的反抗に訓練し、その政治意識を以て無産者階級を先頭隊とする所の一大政治的勢力を結成することでなければならぬ。

從來行はれ來つた請願運動はかゝる全面的社會主義的鬪爭意識を指導精神とするものでなく勞動者、農民の現實的要求と云ふただ其の點に出發點を置いたものであつた。

昨年十月『耕作權確立』『團體權確立』『言論集會結社の自由』『議會卽時解散普通選擧卽行』のスローガンの下に勞農黨京都滋賀支部聯合會によつて提唱せられた。

議會解散請願運動全國協議會にあつては組合的な利益に立脚しつゝ主として組織の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞働者、農民を政治鬪爭に動員しこれによつて當時の右翼支配下に完全なる政治行動への進展を阻害せられてゐた勞農黨を刺戟し階級的政治鬪爭への第一歩を踏み出さしめんとするにあつた。而しこの使命は勞働農民黨第四回中央委員會を楔機とする右翼の沒落に現はれたる如く見るに果して『勞農無產大衆唯一の政治的牙城たる勞働農民黨』を反動化せる幹部の手より大衆の手に奪還し得たのであつた。だが我々は今かくの如き組合主義的なる利害を離れて、全無產大衆を動員する全階級鬪爭にまで進展しなければならない。

然るに、その後昨年十一月、日本農民組合主催の下に提唱せられたる請願運動全國協議會に於ても依然として舊來の方針を踏襲し——この協議會に於て十月組織せられたる議會解散請願運動全國協議會は『運動方針も組織も殆ど舊全國協議會を踏襲することゝなつたが故に』『之を解體し新たに生れた請願運動全國協議會に同化することに決定した』のであるが——『勞働者、農民の現實的要求と云ふたゞそこからだけの請願であつた』。そうして『かゝる無產者の要求は現在の樣な反動的ブルジョア政黨のみの議會で審議されても滿足な結果が得られないことが明かであるから一普通選擧法の通過した今日、政府は直ちに議會を解散して總選擧を行ひ新議會に於て審議せよと云ふのであつた。

だが今や我々は當局の彈壓を排して再び議會解散請願運動を決行せんとするに當つて新に運動方針の轉換を行はなければならぬ。

新なる方針に基づく鬪爭目標及びその鬪爭形態は一般的には先に規定した所である。こゝに我々は、次に左の如きスローガンを揭げるべきであろう。

(一)一年現役制の全般的實施
(二)靑年團・在鄕軍人團、處女會、等に於ける官僚的支配の撤廢
(三)婦人及び十八歲以上の靑年への普選權擴張
(四)小市民を壓迫する稅制整理の改廢
(五)公設食堂及び住宅の增設並びにその管理權の獲得
(六)失業手當法の制定
(七)選擧區の改正
(八)選擧法の改正

かくして我々は、凡ゆる社會層の凡ゆる不平と反抗にまで視野を擴大し全被壓迫無產大衆を政治的鬪爭に動員し、專制的第五十二議會の解散を政府に要求するのである先に我々のスローガンとした耕作權、團結權、罷業權の確立、及び建康保險法の改正等の要求も今や、新なる觀點から全線的展開の立場から貫かれなければならない。

同時に我々は又特に選擧區、選擧法の改正の要求を揭げて全無產大衆への凡ゆる壓迫に對する反抗の要求を貫撤すべく我々の運動を出發せしめなければならない。

即ち我々は普選法による中選擧區制が既成政黨の地盤確保を目的として作られてゐることを大衆に曝露すべきである。而して大選擧區制比例代表制度等の要求の發展は必ずや大衆の意識を高めて地域代表制そのものに對する絕望と新なる職業代表制への自覺を喚び起すであらう。

又我々は現選擧法が啻に靑年及び婦人を除外せるのみならず、其の投票場所、選擧運動に對する官憲の壓迫干涉に便ならしむるからくりに過ぎざる事を曝露すべきである。

而してこの選擧法改正の要求は選擧區改正の運動と相俟つて能くブルジョア議會そのものゝ批判に迄無產大衆の意識を導き得るであらう。

支配階級の意識的暴壓に徹底的抗爭をなし請願運動を全無產大衆の動員にまで展開せしめよ!!

專政的第五十二議會の解散を要求して請願運動を全國的たらしめよ!!

一月十八日の第二回全國請願デーの力の前に支配階級を戰慄せしめよ!! (完)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

編輯後記

◆まづ第一に、二月號を休刊したことを、讀者諸君にお詫びしなければなりません。

それは、豫定の卷頭論文の筆者であつた大山君が、既に御承知のあの早大問題のために非常に多忙であつたのと、そして最後に病臥して、遂に執筆する時間がなかつたので、止むなく休刊してしまひました。不惡諒承を願ひます。

◆早稻田大學唯一の教授として、一萬餘の學生から惜まれた同人大山郁夫君は、今度斷然同校を辭して、勞働農民黨執行委員長として、そしてまたわが『大衆』のために專心されることゝなつたのは、わが無產階級解放運動にとつて、一つの大きな喜びであると共に、同君の勇健な論文か、愈々益々わが『大衆』を賑わすであらうことを、こゝに併せて報告して置きます。

◆わが『大衆』が孤々の聲をあげて既にまる一年、この間に於ける『大衆』に對する世評は、實に毀譽褒貶樣々であつた。そしてその或るものは、故意に『大衆』をおとしいれんとしたものもあつた。そしてわれ等は、その誠意ある批難に對しては、非を非として改むるに吝なものではない。中にも、わが『大衆』が餘りに消極的であるとの批難は適つてゐる。實際われ等は餘りに消極的であつた。だがしかし、時は來た。わが陣容も既に整つた。われ等は旗鼓堂々、勇敢に、積極的にわれ等の信ずる所に從つて邁進せんとするものである。

そして、それは次號から具體的に紙面に表はれるであらうことを、讀者諸君に御知らせして置きます。

（SH生）

大衆合本 第一卷 赤クロース 總目次附

貳圓 稅 拾貳錢

◆多數讀者の要求によりまして、創刊號から十二月までの合本が出來ました。

◆三月中に前金相添へ御申込み下さい。

◆部數に限りがありますので、一日も早く申込んで下さい。超過した時は止むなく御斷りいたします。

定價

○壹部參拾錢（送料壹錢）
○半年壹圓七拾錢（稅共）
○一ヶ年參圓參拾錢（稅共）

廣告料

○一等八拾圓
○二等五拾圓
○三等參拾圓
（但し、半頁はお斷り）

昭和二年三月十三日印刷
昭和二年三月十五日發行

編輯發行兼印刷人 黑田壽男

東京市芝區濱松町一ノ一五
發行所 大衆社
（振替口座東京一六二三八番）

大賣捌 東京堂 北隆館 大東館 東海堂

コール原著　萩原隆吉譯

最新刊

英國勞働階級運動略史

菊判總布裝幀
紙數二七四頁
定價金貳圓
送料金十二錢

勞働運動の部分的研究については從來種々の著書が刊行せられた。けれども單一なる著書に於て勞働運動の三大部門、卽ち勞働組合、協同組合及政治團體の一切の局面を綜合した勞働階級運動發達の一般的研究は本書を措て他に求むことはできぬ。卽ち本書は勞働運動に關する總ての方面を最も手際よく網羅し、世の勞働問題研究家並に勞働者に對して勞働運動の明快な歷史的知識と的確な指導とを與へたもので、世界的名著として既に定評ある好著である。

東京神田中猿樂町
巖松堂書店
振替東京六五五六番

早大教授 北澤新次郎著
勞働經濟論
勞働問題につき學理と實際との兩方面より之を叙述し、又各種の主義思想に對しても剴切な批判を下し勞働問題の眞髓を徹底的に闡明す。
定價金參圓參拾錢　送料金十八錢

法學博士 中村萬吉著
勞働協約の法學的構成
著者が精透なる研究を盡し、特に團結に關する法理、大量的法律行爲に於ける意思表示の價値、等につき獨自の學説を樹立し、斯法の研究に新生命を展く。
定價金四圓　送料金十八錢

安部磯雄著
社會主義の時代
定價 ・六〇　送料 六

村島歸之著
勞働爭議の實際知識
定價 一・二〇　送料 一二

赤松克麿著
勞組働合運動
定價 ・八〇　送料 八

山川均著
勞働組合組織論
定價 七〇　送料 六

麻生久著
無產政黨の理論と實際
定價 ・六〇　送料 六

ジノキエフ著　田所輝明譯
レーニンの生涯と學説
定價 一・〇〇　送料 一〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

市村今朝藏著

近世政治思想史

フランス革命よりロシア革命まで

四六版上製
總頁五五〇頁
定價參圓參拾錢
書留送料拾八錢

新刊

歴史は、階級鬪爭の歴史である。階級鬪爭は革命に於てその絶頂に到達する。本書はフランス革命によつて封建社會を打破したブルジョアジーの政治思想、自然權説に筆を起し、その展開の道を辿り遂にロシヤ革命に到つてブルジョアジーが沒落する迄の政治思想の過程を明かにしたものである。第一篇はブルジョアジーの政治思想を第二篇はプロレタリヤートの政治思想を各々五章づゝに分けて記述したものである。又別篇は科學たらんとしてゐる現代政治學のもがきを説明してゐる。

目次

第一編　フランス革命の政治思想としての自然權説……個人主義(自由主義)の政治思想の諸情勢……實證主義と進化論學派による新機軸の釀成……近代的帝國主義の政治思想……國際的パシフィズムの幻影
第二編　ユートピヤンの政治思想……科學的社會主義の基礎の確立……インタナショナルの運動……無産階級の政權への最初の試煉……ロシヤ革命と無産階級の政治
別編　社會學の政治學への貢獻……政治學に於ける多元的傾向……政治學研究の心理學的意義

發行所　東京市本郷區元町一ノ三　京文社
電話小石川五九八六番
振替東京八二二六番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

河上肇譯（マルクス）改訂版

賃勞働と資本

定價五拾五錢	送料拾四錢	四六版假綴	約九〇頁

新刊

マルキシズム叢書第七篇……本書の性質は、マルクス自身がその序言において『吾々は出來る限り簡單に且つ通俗的に叙述することを努め、かつ經濟學の最も初歩的な概念でさへ之を前提しないやうにするであらう。吾々は勞働者に解かつて貰ひたく思ふから』と言つてゐるので分かる。なほ今度の新版に始めて追加したエンゲルスの長篇に亘る序文は、マルクス經濟學の一礎石たる『勞働力の價値』なる概念の重要性を明かにしたもので、それ自身獨立して一つの重要なる文獻を成せるものである。

近刊豫告

河野密 林要 共譯　反デューリング論（エンゲルス）……マルキシズム叢書

村山藤四郎 黒田久太 共譯　農民問題（マルクス、エンゲルス）……同

水谷長三郎譯　改訂ゴータ綱領批判（マルクス）……同

黒川健三譯　伊太利に於けるファシズム（アキラ）……政治批判叢書

京都市丸太町通寺町東　振替大阪一七〇五番

弘文堂書房

東京市神田區淡路町二　振替東京五三九〇九番

The Taishu. (The Mass)
— Monthly —
Published by Taishu-sha.
No. 15. Icho-me Hamamatsu-cho. Shibaku. Tokyo, Japan.

大正十五年四月二十四日第三種郵便物認可　昭和二年三月十三日印刷　昭和二年三月十五日發行（毎月一回一日發行）

河上肇・宮川實共譯

經濟學批判序說

（マルクス）

定價四拾錢	送料拾貳錢	四六版假綴	約八〇頁

新刊

マルキシズム叢書第六篇……今日普通に流布せらるゝ「經濟學批判」獨逸原本の中、本叢書の内容に該當する部分所謂序說は、もとマルクスに依りわざと省略せられた部分であるが、しかも彼れの方法論について彼れ自らの認めし最も根本的意義を有する文獻であつて、もし適當な用意のもとに之を熟讀するならば、方法論上この部分の貢獻する處はきはめて豊富であり、且深刻であるべきである。これはマルクス學の研究のため常に座右に置かるべきものである。是れ茲に博士の周到なる定譯を得て新に刊行する所以である。敢て研究家の御精讀を奨む。

既刊（マルキシズム叢書）

河上肇譯　レーニンの辯證法（デボーリン）……定價 .八五　送料 .一五

淺野晃譯　哲學の貧困（マルクス）……定價 二.九〇　送料 .二七

河上肇著　階級鬪爭の必然性とその必然的轉化……定價 .五〇　送料 .一五

宮川實譯　カントに於ける辯證法（デボーリン）……定價 一.〇〇　送料 .一五

河上肇譯註　改版 勞賃價格及利潤（マルクス）……定價 .四〇　送料 .一五

京都市丸太町通寺町東　振替大阪一七〇五番

弘文堂書房

東京市神田區淡路町二　振替東京五三九〇九番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN